



令和7年度 公開園指導案



公開園【朝来幼稚園】

【日 時】 令和7年10月31日（金曜日） 9時30分～10時45分
 【対象児】 0歳児 もも組（男児：4名 女児：2名）
 10ヶ月～2歳 1歳6ヶ月～4名
 【担任名】 波多野 涼子 紺谷 真澄

【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

- 食事中に眠たくなる子もいるので必要に応じて午前寝をする。
- 保育者に言葉をかけながらオムツを替えてもらい、心地よく過ごしている。
- 食べることを楽しみにしており、手づかみで喜んで食べている。
- 名前を呼ばれると「はーい」と元気よく手をあげたり、笑顔で応えたりしている。
- 自分で好きな遊びを見つけて玩具の所へ行っている。

＜発達の特徴＞

- （10ヶ月）
- ずりばいや伝い歩きを楽しみ、行きたい場所へ移動している。
- 話しかけたり歌を歌ったりすると笑顔が見られる。
- 保育者に見守られながら気持ちを受け止められ、安心して遊んでいる。
- （1歳1ヶ月～1歳6ヶ月）
- 歩行が安定して行動範囲が広がり好きな玩具や興味のある場所に向かい、探索活動を楽しんでいる。
- 喃語や表情・身振りで自分の想いを保育者に伝えようとしている。
- 保育者との信頼関係ができ、自分から保育者にスキンシップを求めたりする。

＜遊びの特徴＞

- （体を使った遊び）
- 保育者を求めてずりばいやハイハイなどをしてしている。
- 歩いたりつかまり立ち・ずりばいなどそれぞれの方法で行きたい所に自分で向かい遊んでいる。
- トンネルをくぐり、「いないいないばあ」を楽しんでいる。
- ボールプールでは、ボールを穴の中に入れたり、転がしたボールを目で追ったりして楽しんでいる。

（指先を使った遊び）

- 異なる素材のポットン落としの中から好きな物を選んで遊んでいる。全ての容器の中に入れた後、容器を保育者に渡し開けてほしいことを伝え、繰り返し遊ぶ姿が見られる。
- 感触のビジーボードや感触マットを回す・押す・つまむ・音を鳴らすなど指先を使って楽しんでいる。
- 月齢の早い子同士で顔を見合わせて「いないいないばあ」をして楽しんでいる。
- （身近な人と関わる遊び）
- 好きな絵本を出してきて自分で見たり、保育者の所を持って読んでほしいと伝えたり、好きな場面が出てくると声を出して笑ったりと楽しむ姿が増えてきた。
- 保育者の膝の上に座り、「パスこっこ」「いっほんばし」などのふれあいあそびや季節の歌を歌うと手や体を揺らしてリズムにのったりして楽しんでいる。
- 月齢の早い子同士で顔を見合わせて「いないいないばあ」をして楽しんでいる。

＜ねらい＞

- 保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ。
- 保育者に自分の思いを身振りや表情で伝える。
- 触れる・つまむ・引っ張る・入れるなど指先を使った遊びを楽しむ。

＜内容＞

- 保育者と一緒に絵本を見たり、歌やふれあい遊びをしたりする。
- トンネルをくぐった後や友だち同士で「いないいないばあ」遊びをする。
- ポットン落としやビジーボード・積み木などの玩具で、つまんだり、引っ張ったり、入れたりして指先を使って遊ぶ。

＜内容選択の理由＞

- 保育者との安心できる関係性を基盤に自ら好きな遊びを選び、関心をもち繰り返し遊んでほしい。
- 遊びの中で不思議さやおもしろさ・手触りや音などを感じてほしい。
- 入れる・出す・引っ張る・投げる・転がすなどの活動を楽しんでほしい。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
- 子どもの発達や興味に合わせて環境を整える。 - 好きな玩具を選んで遊ぶようにコーナーの位置や置く場所に配慮する。(ポットン落とし、ビジーボード、牛乳パックの積み木)	- 興味のある玩具を自分で出したりして遊びだす。 - ポットン落としを楽しんでいる。 - 午前寝をする子もいる。	- 不安な様子が見られた時には抱っこなどのスキンシップを行う。 - 気持ち落ち着くように抱っこなどをして午前寝をする。 「入ったね」「音が鳴ったね」など言葉をかけてきた喜びを受け止め共感する。	- 自ら好きな場所へ行き、好きな玩具を選んで遊んでいるか。 - 自分の見つけた物や感じた思いを身振り・手振りや声を出すなどして保育者に伝えようとしているか。
様々な動きが楽しめるように発達や興味に合わせて準備する。(ボールプール、マットのトンネル、感触マット など)	〇体を使って遊ぶ - ハイハイやずりばいをしてトンネルをくぐったりする。 - 感触マットの上を歩く、座る、手で触ったり感触を楽しんだりしている。 - ボールプールに入って素材の感触を楽しんだり外に投げたり転がしたりして遊んでいる。	「〇〇ちゃんおいで」とトンネルの出口から誘いかけてたりトンネルから出てきた時に顔を合わせて笑いかけたりする。 「ふわふわしているね」「気持ちいいいね」と感触や心地よさを言葉で伝えながら一緒に楽しめるようにする。 - 集中しているときは傍で見守り、うまくできない時は直ぐに手を出さず自分でしようとする姿を見守る。助けを求めた時はタイミングよく手助けをする。	保育者との関わりを喜び、笑顔や声を出して表現しているか。
「たこさん」 「とんとんとんたんひげじいさん」 「たべもの」	〈絵本〉 - 絵本棚から好きな絵本を取りページをめくったり、食べる真似をしたりする。 - もう一回読んでほしいことを身振りや発声・表情で伝えている。	- 一人でじっくりと絵本を見ている姿を傍で見守ったり、登場する物を指差ししている時に「〇〇だね」と伝えたりする。 - 子どもの表情や言葉に共感する。	保育者とのふれあい遊びを楽ししみ、表情や身振り・喃語で楽しさを伝えようとしている。
「バスにのって」 「いっぽんばしこちよこちよ」	〇ふれあい遊び - 保育者の口ずさむ歌を聞くと、体を揺らしたり、手・足を動かしたりして一緒に楽しんでいる。 〇保育者と触れ合って遊ぶことを喜ぶ。	- 愛情豊かに笑顔でふれあうことで温かい雰囲気を作る。 - 歌に合わせて体を揺らしたり、身振り・手振りをしたり、「楽しいね」など声をかける。	保育者とのふれあい遊びを楽しみ、表情や身振り・喃語で楽しさを伝えようとしている。

	〇もう一回してほしいことを身振りや発声で伝えている。	〇子どもの身振りや発声に反応しながら一緒に楽しむ。	
--	--	---	--



公開園【朝来幼稚園】

- 絵本
- 繰り返しのある絵本、生活に関係のある絵本、食べ物や動物が出てくる絵本を好み、絵本棚から好きな絵本を選んで自分でめくってじっくり見たり、保育者に手渡し読んでもらったりすることを喜んでいる。一冊の絵本を友だちと囲んで見ている。動物の真似をしたり食べるふりをしたりしながら楽しんでいる。
- 手先・指先を使った遊び（パズル・ブロック・ポットン落とし等）
- ブロックを高く積み上げ壊すことを繰り返して楽しんでいる。ポットン落としでは全部入られると自分で蓋を開けようとしている子や「あけて」と保育者に知らせている子がいる。シール遊びでは丸シールやビニールテープ等を用意しておくことで自分がめくりやすいシールを選んでシール遊びを楽しんでいる。
- ＜ねらい＞
- 保育者や友だちに関心をもち、模倣したり砂やブロック等を様々な物に見立てたりして楽しむ。
- 見たり触れたりする中で様々な感触に親しむ。
- 好きな遊びを楽しむ中で、自分の思いや要求を簡単な言葉やしぐさ等で伝えようとする。
- ＜内容＞
- 泡や砂、色水等様々な感触を味わう。
- 透明カップやバケツ等に泡や色水を入れ、れんげで移し替えたりして遊ぶ。
- 容器に色水や泡を入れ、食べ物やジュースに見立てて遊ぶ。
- 保育者や友だちとのやりとりを楽しみながらおまごをする。
- めくる、はめる、落とす等手指を使って遊ぶ。
- ＜内容選択の理由＞
- 自分の好きな場所や遊びを選び、その時にやりたいと思ったこと、興味を持ったことを十分に楽しみ満足感を味わってほしいと考えている。
- 周りの人やものへの興味・関心が高まってきているので、大人や友だちの模倣をしたり砂やブロック等を様々な物に見立てたりすることの楽しさを味わってほしい。
- 好きな遊びを楽しむ中で簡単な言葉やしぐさ、表情等によって友だちや保育者に思いを伝えられるようになってほしい。

- 【日 時】 令和7年10月31日（金曜日） 9時30分～10時45分
- 【対象児】 1歳児 うめ組（男児：4名 女児：4名）
- 【担任名】 上月 そら 西村 雅子
- 【子どもの姿】
- ＜子どもの生活の特徴＞
- 食事面では手づかみや食具を使って意欲的に食べている。お皿が空になると「みて」とお皿を保育者に見せたり、食べたい物のお皿を指さしたりして保育者に要求する姿が見られる。
- 衣服の着脱やおむつの上げ下ろし等は自分でやってみようとする姿が見られる。思うようにならない時は簡単な言葉やしぐさで伝えようとしている。
- 排泄面では、声掛けをすることでトイレで排尿できる子が増えてきている。日中布パンツで過ごしている子もいる。
- ＜発達の特徴＞
- 歩行が安定し、走ったり幅の広い平均台をバランスよく渡ったり、大きなブロックに足を上げて上ろうとする姿が見られる。
- 遊びを楽しむ中で友だちに「かして」等の簡単な言葉やしぐさを使って自分の思いを伝えようとしているが、おもちゃや場所の取り合いになることもある。
- 友だちへの関心が強まり、友だちのしていることを真似たり、友だちの名前を呼んで一緒に遊ぶことを楽しんでいる。
- 指先の機能が発達し、つまむ、めくる、破る、はがす等の微細な動きも生活や遊びの中でおこなっている。
- ＜遊びの特徴＞
- 運動遊び（歩く・よじ上る・くぐる・跳ぶ等）
- 歩行が安定し、様々な動きを楽しんでいる。園庭にある築山もお見さんお姉さんが上っている姿を見て怖い気持ちもあるが、保育者に体を支えてもらいながら上ることに挑戦している。また、自分と同じ高さのソファブロックの踏み台を自分で用意をして工夫しながら上ろうとしており、上れるととっても嬉しそうにしている。
- 模倣・見立て遊び（ごちそう作り・赤ちゃんのお世話・車遊び等）
- 身の回りのことへの興味・関心が高まり、日常生活の中で見たり聞いたりしたことを自分でもやってみようとしたり、自分がしてもらっていることを人形や友だちにやってみたりしている。三角のフェルトを何枚か重ねてサンドウィッチに見立て「どうぞ」と友だちや保育者に配り食べるふりをしてもらえたととても嬉しそうにしている。人形をおんぶしたり、ベットの寝かしつけたり、人形のお世話をすることを楽しんでいる。
- ふれあい遊び
- 「バスにのって」を保育者が口ずさむと長細いブロックに数人でまたがり一緒に口ずさんだり保育者の真似をしたりしながら楽しんでいる。好きな手遊びを繰り返して楽しもうちにフレイズやメロディーを覚え、友だちと顔を見合わせながら保育者の真似をする姿が見られる。
- 感触遊び（水・泡・寒天・小麦粉粘土・色水等）
- 夏の間に泥や寒天、小麦粉粘土等、様々な素材に触れる経験を重ねてきたことで感触遊びが苦手だった子ども友だちが楽しむ姿を見て少しずつ触ってみようとする姿が見られるようになってきている。近くにカップやれんげを置いておくことで、感触を楽しむだけでなく容器から別の容器に移し替えたり、泡や色水を容器に入れて「アイスクリーム」と見立て保育者や友だちに見せたりして楽しむ姿が見られる。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
【保育室】 ・自分の好きな遊びを選んで楽しめるようにコーナーを用意する。 ○おもちゃごと（縄、スプーン、食べ物、フェルト子） ・ぬいぐるみ、机、椅子 ・見立て遊びを楽しむように必要の物を用意する。	・登園した子から好きな遊びや場所を選んで楽しむ。 ○おもちゃごと ・お皿にたくさん食べ物を盛り付けけることを楽しむ。 ・スプーンを使って盛り付けたい食べ物を友だちや保育者の口口に持っていく。 ・スポンジに洗剤を付けてお皿を洗っていく。	・子どもの思いに寄り添い、一緒に遊びを楽しむ。 ・友だちと一緒に遊ぶ楽しさややり取りの面白さを味わえるように保育者がそばに寄り添い、仲うちをする。 ・「○○も食べたいな」等遊びが広がりを、より楽しめるように声をかけをしながら一緒に楽しむ。	・自分の好きな遊びを選び、楽しんでいくか。 ・自分の思いを言葉やしくさで伝えようとしているか。
○構成遊び（ソフトブロック、井型ブロック、車） ・落着いた雰囲気で作しているようにごきをひいておく。	○構成遊び ・ソフトブロックを高く積み上げ楽しんでいる。 ・井型ブロックを長くつなげて作り、保育者につなげてもらったりしながら楽しむ。 ・知っている色を口ずさみながらブロックを積みだりつなげたりしながら楽しんでいる。 ・ロードマップ上で車を走らせたり、車に乗ったりしながら楽しんでいる。 ・保育者が口ずさむ歌を真似て楽しんでいる。	・「高く積みたね」等と声をかけをしながらじっくり遊んでいる様子を見守る。 ・「赤色だね」「青だね」と子どもが見せてくれる物を色で伝え色や形に興味が持てるように関わる。 ・子どもたちそれぞれの思いを受け止め保育者が思いを代弁しながら仲立ちする。 ・「ブツブツ」と効果音をつけたり車に関係のある歌を口ずさみ車いす遊びを楽しむようにする。	・自分でできたことや嬉しい気持ちや保育者に言葉やしぐさで伝えようとしているか。
○指先遊び（パスル、シール、目録、シールを入れるカゴ、ごみ箱、ポットン落とし） ・集中して楽しめるように机と椅子を並べておく。	○指先遊び ・好きな色のシールをカゴから手に取って貼る。 ・集中してシールをひとつひとつめくって貼ることを繰り返す。 ・貼りが終わったシールをゴミ箱に捨てようとする子もいる。	・貼ったりめくったりしながら1人遊びをじっくり楽しむように遊ぶのを促す。 ・少し端をめくったシールを渡し、めくる動作が苦手な子も自分でできると喜びを味わえるようにする。	
○絵本コーナー（牛乳パックの椅子） 【テラス】 ○コロコロスロープ（コロコロスロープ、ボール、どんぐり等の木の葉）	○絵本 ・絵本を持ってきて保育者に絵本を読んでもらう ○コロコロスロープ ・ボールが転がる様子をじっと見ている。 ・転がらない時は手を入れたり揺らしたりしながらボールを出そうとしている。 ○バスケットゴール ・ボールを集めてゴールに入れたり投げたりしながら楽しんでいる。	・読んでほしい気持ちや「これは？」と尋ねる姿に丁寧に応じる。 ・「ころがったね」と転がると楽しさに共感し、どんぐり等の違う素材もころがしながらか遊びが広がるようにする。 ・ゴールにボールを投げた喜びに共感する。 ・ゴールにボールを投げた喜びに共感する。 ・ゴールにボールを投げた喜びに共感する。	

○車 (段ボールで作った車) ○車 ・段ボールの車に入り、テラスを走ることを楽しむ。 ・友だちと一緒に段ボールの中に入り、顔を見合わせてやりとりを楽しんでいる。	○園庭 ○泡遊び (泡ハンドソープ用の容器、透明カップ、れんげ、ボウル、机、椅子) ○泡遊び ・泡ポンプを押して容器に泡を集める。 ・集めた泡を体につけて感触を楽しんでいる。 ・集めた容器を違う容器に移し替えたたりしながら楽しんでいる。 ・机に持って行き、れんげですくって友だちや保育者に食べてもらいながら見立て遊びを楽しんでいる。 ○砂遊び (牛乳パックで囲んだ砂場、型、お皿、スプーン) ○砂遊び (牛乳パックで囲んだ砂場、型、お皿、スプーン)	・車に関係のある歌を口ずさみながら車遊びをより楽しむようにする。 ・子どもが興味をもっていることに心を奪われ、状況に応じで見守ったり「はい、そうだね」等と声をかけたりする。 ・泡がなくなると子どもが訴え掛けるときは「お水入れようね」等の声をかけながら必要に応じて泡を補充する。 ・子どもの遊びの様子を見ながら「○○もあるよ」と道具の存在を知らせたり、保育者が泡を作って見せたりしながら興味をもてるようにしていく。 ・一緒にそのままごとを楽しむながら「○○つくったの」と子どもの反応に応答的に関わる。 ・「○○くんにもあげる?」と友だちとの関わりが広がるようにする。 ・口に入れたりしないように見守りながら安全に遊びを楽しむようにする。 ・取り合いになった時にはお互いの気持ちを察し合いながら、気持ちよく交代し仲良くする。 ・同じものがあれば提示し「友だちにももらおうね」等と声をかける。 ・園々の体調や遊びの様子などを必要に応じて早めに部屋に入るように声をかけ、かけ、見立て遊びが広がるようにする。	・秋の自然に触れ興味をもち、見たり触れたりしているか。
---	--	---	------------------------------------



公開園【朝来幼稚園】

【日 時】 令和7年10月31日（金曜日） 9時30分～10時45分
 【対象児】 2歳児 すみれ組（男児：11名 女児：10名）
 【担任名】 橋本 晃子 柳田 絵里 藤村 文美 土師 容子

【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

- 生活の流れが分かって、保育者に見守られながら身の回りのことを自分でしようとしている。一人でできたことを伝えたり、保育者に手伝ってもらったりして自分でできた喜びを感じている。
- 排泄面は個人差があるがパンツで過ごす子が増えている。保育者に伝えて一緒にに行ったり、保育者が誘いかけてトイレに行ったりしている。
- 食事面では、手づかみで食べたり、食具を使って食べたりしている。個々に応じて量を調整することで、食べられた喜びを感じている。苦手なものも少しずつ食べようとしている。
- 戸外に出るときは自分で帽子、靴下を用意し、靴も自分で履こうとしている。

＜発達の特徴＞

- 好きな遊びを通して、友だちと言葉のやり取りをしながら一緒に遊んだり、関わって遊ぶうしたりする姿が見られる。
- 戸外で走り回ったり、遊具を使って体を動かしたりすることを喜んでいる。
- 自分の思いや願いを言葉や身振りで伝えようとしている。時には自分の思いを通そうとしたり、思いを言葉にできなかつたりするとトラブルになってしまうこともある。保育者が仲立ちし、少しずつ思いを伝えるようになってきた。

＜遊びの特徴＞

- ごっこ遊び（ままごとごっこ、お店屋さんごっこ、お医者さんごっこ）
 色々な素材や玩具を使ってキッチンで自分なりに料理を作り、「お弁当できた」「ジュース入れた」と、お母さんや店員さんなどになりきって保育者や友だちと一緒に食べたり飲んだりすることを楽しんでいる。お母さんになりきり、人形を抱っこして、ミルクを飲ませてあげたりしてお世話をしている。
 お店屋さんごっこでは「いらっしゃいませ」「これください」と友だちとの会話を楽しみ、お客さんが来ると、ピッとレジ打ちをして「ありがとうございます」とやり取りをして遊んでいる。
 お医者さんごっこでは、お人形に聴診器を当てたり、注射を打ったりして、自分の経験したことを思い出し遊んでいる。

○車、電車、ブロック遊び

道路に車やお店を並べ「パン屋さん行ってくる」と車を走らせて遊んでいる。電車では長く連結させて「電車が通るのでいってください」と友だちと一緒に走らせたり、会話したりしながら遊ぶ姿が見られる。
 ブロック遊びでは、自分の想像したのを作って怪獣や電車に見立てたりたくさん積んで「見て、ぼくより高いのできた」と保育者や友だちに見せたり、時には一緒に作ったりして喜んでいる。

○戸外遊び（砂遊び、色水遊び、泡遊び）

砂遊びでは、団子や型抜きでカップケーキなどを作ったり、どんぐりを食べ物に見立てたりして、ままごと遊びを楽しんでいる。
 色水遊びでは、色を混ぜたり、友だちと違う色ができたりすることを楽しんでいる。そこに泡をのせたりして、ジュースに見立てて遊んでいる。

＜ねらい＞

- ごっこ遊びなどを通して、保育者や友だちと、やり取りを楽しむ。
- 砂や泥で遊ぶことを楽しむ。

＜内容＞

- ままごとごっこ、乗り物ごっこ、お店屋さんごっこ、お医者さんごっこなど、ごっこ遊びをする。
- 砂で型抜きをしてケーキや、お弁当を作ったり、色水ジュースなど作ったりして見立て遊びをする。
- ひも通し、ブロック遊びをする。

＜内容選択の理由＞

- ままごとごっこは身近な遊びで継続している。友だちと関わり、言葉のやり取りが活発になって欲しいと考えている。
- ブロックで遊ぶことが好きな子が多く、集中して遊ぶ姿が見られる。ブロックで見立てたり、自分で考えたものを形にしたりして遊ぶことを楽しんでほしいと考えている。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
好きな遊びを選びやすく、取り出した場所、決まった場所に玩具を置いておく。	自分の心地よい場所や、好きな遊びを見つけて遊び出す。	思いを丁寧を受け止め、安心して遊びが始められるようにする。	
《ままごとコーナー》 (テーブル、冷蔵庫、お弁当箱、お皿、鍋、フライパン、スポンジ、食材に見立てられる素材、フライ返し、スプーン、お玉、包丁、まな板、コップ、人形、ジュース、服、おんぶ紐、ベッド、布団)	《ままごとごっこ》 ・容器、調理器具、食材を選ぶ。 ・鍋やフライパンに選んだ食材を入れ、お皿に盛り付け、保育者や友だちに「どうぞ食べてください」とテーブルに並べて友だちと一緒に食べる真似をする。 ・人形に「ミルクですよ」「お腹すいたね」と言って抱っこしてミルクを飲ませたり、食事させたりして楽しんでいる。	・子どもたちの姿を言葉にして「スバガッティ美味いね」と言ったり、フーしながら食べる真似などを一緒にやり取りを楽しむ。 ・友だちに興味をもち、思いを言葉や身振り、手振り、表情を交えて伝えたり、やり取りを楽しんでいるか。	・何かを見立てたり、なり切ったりして遊んでいるか。 ・友だちと一緒にやり取りを楽しんでいるか。
・お店屋さんコーナー レジ、フード、空き箱、買い物かご、袋	《お店屋さんごっこ》 ・「いらっしゃいませ」と店員になったり、「これください」とお客さんになったりして買い物かごに欲しいものを入れ、言葉のやり取りを楽しんでいる。	・保育者も一緒に「アイスクリーム」「野菜くさい」「遊びに参加し、楽しさを味わわせる。	
・ブロックコーナー レゴブロック、ニユーブロック、シリコンブロック	・ブロックを組んで見立てたり、長く組んだりして友だちと共有して楽しむ。 ・作りたいものを保育者に伝え一緒に作る。 ・出来上がったものを見せ、「みて」「○○できた」「高いのよ」保育者や友だちに見せている。	・子ども同士でのやり取りを見守りながら、「どこまで高くできるかな」「かっこいいのよきたね」と作りたいもののや作ったものを認める言葉がけをする。	・友だちと遊びがぶつかり合う時は、思いを代弁したり、自分で話ができるように見守る。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
絵本やイラストの用意をする。	《絵本》 ・自分でページをめくり、絵本を見ている。 ・読んでほしい絵本を保育者に持っていく「これ何」「これ知ってるで」と指差しや言葉で伝えている。 《砂遊び》 ・自分の使いたい道具を取りに行き、砂場で型に砂を入れひっくり返して型抜きをしてケーキやご馳走作りをしている。葉や木の実、小石で飾り付けをして友だちに見せたり、やり取りを楽しんでいる。 ・色水を容器に入れ、色の変化を楽しんだり、泡をのせてジュースにしたりして遊んでいる。 ・木の実を使い、デコレーションにしてみたり、潰したりして楽しんでいる。 ・友だちとのイメージの違いや、欲しいものが同じだった時等に自分の思いを強く主張しようとすることもある。	・絵本が見やすいようにゆったりとした雰囲気の中で子どもたちの様子を見ながら読む。 ・絵を見て「りんごだね」「おいしそうだね」声かけをしたり、内容に合わせて「だるまさんがころんだ」「すくとんとん」等の繰り返しのある言葉を使ったりして楽しめるようにする。 ・子どもからの言葉に応答し、やり取りをする。 ・「いただきます」「おいしいね」等の言葉のやり取りを楽しむ。 ・泡を子どもと一緒に作ったり、ケーキなどにのせたりして楽しめるようにする。 ・色水を容器に入れ、色の変化を楽しんだり、泡をのせてジュースにしたりして遊んでいる。 ・木の実を使い、デコレーションにしてみたり、潰したりして楽しんでいる。 ・友だちと遊びがぶつかり合う時は、思いを代弁したり、自分で話ができるように見守る。	・保育者に読んでもらったり、聞いたりして、やり取りを楽しんでいるか。 ・何かを見立てたり、なり切ったりして遊んでいるか。 ・できたものを保育者や友だちに見てもらったりしてやり取りを楽しんでいるか。



公開園【朝来幼稚園】

○色水作り、泡作り

絵の具や食紅を溶かした色水を混ぜ合わせ、色の変化に不思議さを感じたり、計量カップやお玉などいろいろな道具を使い注いだり、すくったりする事を楽しんでいる様子も見られる。泡遊びでは保育者に手伝ってもらいながら作った泡と色水、砂を混ぜてはクーキやジュースに見立てて遊んでいる。4歳児、5歳児の姿を見て自分で泡を作ってみようというそんな道具を試す姿も見られる。

○虫探し

ダンゴ虫や幼虫探しが大好きな子どもたちは、石やタイヤの下など園庭にはどこに虫がいるのかをよく知っていて、友だちと一緒にバケツや手押し車に集めて楽しんでい。「ダンゴ虫集いから」「ダンゴ虫のご飯」「ダンゴ虫喜んでる」など落ち葉や石、木の枝などを入れてダンゴ虫の快適なお家を作ってあげようとお世話をする姿が見られる。また、ダンゴ虫について自分が知っている事を友だちに伝えたり、「○○くん、ダンゴ虫見つけた～」と友だちを誘い合ったりする様子が見られる。見つけた生き物を大切にしようとする気持ちも出てきている。

＜ねらい＞

○自分の思いを言葉にして、保育者や友だちに伝えたりやりとりしたりすることを楽しむ。

○様々な素材を使いイメージした物を作るなど、自分なりに表現することを楽しむ。

＜内容＞

○ごっこ遊びで役になりきって友だちとのやりとりを楽しむ。

○自分の作りたい物のイメージを言葉で伝え、様々な素材を使い製作遊びをする。

○泥や水に触れて解放感を味わいながら、見立て遊びやごっこ遊びを楽しむ。

＜内容選択の理由＞

○ままごと、お店屋さんごっこでは自分の生活経験を表現して遊び、なりきること友だちとイメージを共有しやりとりの楽しさを感じてほしい。

○いろいろな素材を使って自分の作りたい物を保育者に援助してもらいながら形にしたり、友だちが作っている物に興味をもち作ってみたいと意欲を持ち、作った物で遊ぶ楽しさを感じてほしい。

○泥、砂遊びでは自分の思いを伝えたり、友だちと力を合わせて作り上げたりして友だちと関わりながら一緒に遊ぶ心地良さを感じてほしい。また、砂や土、水の面白さを感じているので自分なりに考え、試したりして繰り返し遊ぶ楽しさを感じてほしい。

【日 時】 令和7年10月31日（金曜日） 9時30分～10時45分

【対象児】 3歳児 さくら組（男児：10名 女児：8名）

【担任名】 楠木佳恵 八瀬河まゆみ（支援加配） 岩見正美（支援加配）

【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

○生活の流れが分かったり、衣服の着脱など自分のことは自分でしようとする姿が見られる。できないことや困ったことがあると保育者に伝えきて、手伝ってもらいながら最後まで取り組もうとしている。

○食事面では好き嫌いも少なく意欲的に食べる子が多い。座る姿勢やスプーン、フォークを正しく持てるように言葉かけをすると意識しようとする姿が見られる。

○排泄は自分のタイミングで行けるようになってきている。

＜発達の特徴＞

○友だちとの関わりが増え、一緒に遊んだり会話を楽しんだりしている。

○自分の思いがうまく伝わらないと泣いたり手が出たりしてしまふ事がある。保育者が仲立ちし、互いの気持ちを代弁することで自分の思いを少しずつ言葉にして伝えようとする姿がある。

○作りたい物をイメージした素材を選び、はさみやセロテープを使い製作を楽しんでいる。またでき上がった物で遊ぶ姿も見られる。

＜遊びの特徴＞

○電車、車ごっこ

ブロックで車や電車を作った遊ぼうに「走せたい」「道路がいる」「高速道路もいる」「線路がいる」と話し始めたので段ボールで道を作ることになった。まっすぐな道や曲がった道など、自分たちで考えながら友だちと一緒にセロテープで貼り、道路を完成させて遊んでいる。また、保育者に手伝ってもらいながら空き箱でいるんな色の電車を作ったり、電車をセロテープで繋げて連結させたりして遊んでいる。ブロックか空き箱の電車か自分で好きな方を選び、友だちと一緒にやりとりをしながら走らせて遊ぶ姿が見られる。

○お店屋さんごっこ、ままごと

お店屋さんごっこでは「いらっしゃいませ～」とお店の人が声を出すとお客さんが集まってきてお店屋さんごっこが始まり、「こんにちわ」「ジュースください」「ポテトください」など身近な生活の中での会話が子ども同士の間で起こわれ、それぞれの役になりきること満足感を感じている。また、自分たちが段ボールや画用紙で作ったアイスクリームやお店に並べては遊びに取り入れて楽しんでいる。

○泥遊び、砂遊び

砂場に穴を掘り水を流し、砂を手やスコップで叩き固めて壁を作り「お城みたい」「ミズのお家にしよ」「テレビがいる」など自分たちでイメージしながら楽しんでいる。といて坂を作っては水の流れる様子に興味をもち、コップやバケツ、やかんなどいろいろな道具を使い分けては水も水を運ぶことを楽しんでいる。また、5歳児がつなげたとい泥団子や石を転がす様子を見て、いろいろな物を転がしては転がる物や転がる置き方や速さを発見する楽しさや達成感を感じて遊んでいる。といだけでなくベントボトルのコースも用意し、さらに転がし遊びを楽しんでいる。

ボールや鍋に土と水を混ぜてカラーやコーヒーに見立てて保育者に「コーヒーどうぞ」「先生カラーできた」と持ってきたり、友だちに見せたりやりとりを楽しんでいる。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
・ブロックを組み立てた電車や手作りの電車を走らせて遊びやすいように広い場所をあけておく。 ・ブロック ・セロハンテープ ・折り紙 ・画用紙 ・紙ボール ・牛乳パック など	○電車、車ごっこ ・ブロックではやぶさやドクタンイエローなどを作っている。「タイヤ作りたい」とタイヤがないと走れないことに気づき、保育者に手伝ってもらいながら牛乳パックや段ボールを切ってはタイヤ作りをしている。 ・友だちと「連結しよ」とセロハンテープで繋げて走らせようとする。 ・友だちと「ぼくは○」など友だちに言葉で伝えながら一緒に競争させて楽しんでいる。 ・遊んでいるうちに道が狭れてきたので「ここ直すわ」「壊れた」と友だちとやりとりしながらセロテープで貼り合わせ直そうとしている。	・「カッコいい電車だね」「素敵なタイヤだね」イメージに合った声かけをする。 ・子どもたちが道を直しやすいようにセロハンテープを巻いて置き、友だちと一緒にする姿を見守る。 ・セロハンテープではとれやすい様子であればボンドやガムテープなど違う道具があることを伝える。	・友だちと自分の思いを伝え合いながら道路作りを楽しんでいる。 ・いろいろな材料を使い自分たちでやってみたいとうとしている。
・好きな遊びが楽しめるように決まった場所に準備しておく。 ・台所セット ・お皿 ・コップ ・食材 ・人形セット	○お店屋さんごっこ、まごっこ ・「いらっしゃいませ」と帽子をかぶりお店屋さんが始まり、「ポテトください」「ジュースありますか」などメニューを指さし注文し、お店屋さんごっこが始まる。 ・「ピクニック行きますよ」「キャッチしようよ」など同じ場所を遊んでいる友だちを誘い、手提げかばんに食べ物を入れ出し出しやすいように種類や色ごとにわけておく。	・「ジュースください」や周りにいる子に「美味しいよ」と薦めて友だちとの関わりややりとりが広がるように仲立ちしていく。 ・「甘くて美味しい」など保育者も一緒に遊びに加わり、想像が膨らむような声かけをする。 ・作りたい物や材料を選んで組み合わせて貼ったり、切ったり、貼ったりして楽しんでいる。 ・友だちが作っている物に興味をもったり、同じ物を作りたいと作り方を聞いてやりやりとりをして遊んでいる。	・それぞれの役になりきり楽しんでいる。 ・作りたい物をイメージして素材を組み合わせて貼ったり、切ったり、貼ったりして楽しんでいる。 ・友だちが作っている物に興味をもったり、同じ物を作りたいと作り方を聞いてやりやりとりをして遊んでいる。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
・ブロックを組み立てた電車や手作りの電車を走らせて遊びやすいように広い場所をあけておく。 ・ブロック ・セロハンテープ ・折り紙 ・画用紙 ・紙ボール ・牛乳パック など	○電車、車ごっこ ・ブロックではやぶさやドクタンイエローなどを作っている。「タイヤ作りたい」とタイヤがないと走れないことに気づき、保育者に手伝ってもらいながら牛乳パックや段ボールを切ってはタイヤ作りをしている。 ・友だちと「連結しよ」とセロハンテープで繋げて走らせようとする。 ・友だちと「ぼくは○」など友だちに言葉で伝えながら一緒に競争させて楽しんでいる。 ・遊んでいるうちに道が狭れてきたので「ここ直すわ」「壊れた」と友だちとやりとりしながらセロテープで貼り合わせ直そうとしている。	・「カッコいい電車だね」「素敵なタイヤだね」イメージに合った声かけをする。 ・子どもたちが道を直しやすいようにセロハンテープを巻いて置き、友だちと一緒にする姿を見守る。 ・セロハンテープではとれやすい様子であればボンドやガムテープなど違う道具があることを伝える。	・友だちと自分の思いを伝え合いながら道路作りを楽しんでいる。 ・いろいろな材料を使い自分たちでやってみたいとうとしている。
・好きな遊びが楽しめるように決まった場所に準備しておく。 ・台所セット ・お皿 ・コップ ・食材 ・人形セット	○お店屋さんごっこ、まごっこ ・「いらっしゃいませ」と帽子をかぶりお店屋さんが始まり、「ポテトください」「ジュースありますか」などメニューを指さし注文し、お店屋さんごっこが始まる。 ・「ピクニック行きますよ」「キャッチしようよ」など同じ場所を遊んでいる友だちを誘い、手提げかばんに食べ物を入れ出し出しやすいように種類や色ごとにわけておく。	・「ジュースください」や周りにいる子に「美味しいよ」と薦めて友だちとの関わりややりとりが広がるように仲立ちしていく。 ・「甘くて美味しい」など保育者も一緒に遊びに加わり、想像が膨らむような声かけをする。 ・作りたい物や材料を選んで組み合わせて貼ったり、切ったり、貼ったりして楽しんでいる。 ・友だちが作っている物に興味をもったり、同じ物を作りたいと作り方を聞いてやりやりとりをして遊んでいる。	・それぞれの役になりきり楽しんでいる。 ・作りたい物をイメージして素材を組み合わせて貼ったり、切ったり、貼ったりして楽しんでいる。 ・友だちが作っている物に興味をもったり、同じ物を作りたいと作り方を聞いてやりやりとりをして遊んでいる。



公開園【朝来幼稚園】

る中で「レジもいるな」「お金もいるね」「必要な物に気づき、自分たちで工夫して準備をする姿も見られる。ごっこ遊びが始まると、「いらっしゃいます」「○○円です」「私レジする」「私は袋詰めするね」と役割を決めながらやり取りを楽しみ、友だちと協力して遊びを進めている。

○色水と泡遊び

夏前に異年齢で楽しんで色水や泡遊びを、涼しくなった10月になってから、園庭で再び楽しむ姿が見られる。これまで絵の具の色水で遊んでいたが、新たな素材として食紅を準備すると変化が見られた。卵の容器にスゴイトを使って食紅で作った色を混ぜると、「ゼリーみたいでおいしそうやな」「固めたらゼリーやな」という声が上がリ、寒天を使った遊びへと発展していった。翌日、「昨日より色が薄くなったな」と色の変化に気づき観察する姿も見られる。

また、朝顔やマリーゴールドなどの植物をすりつぶして色水を作り、自然の色にも関心を寄せている。泡遊びでは、泡立て器やネットを使い、泡を作り、どうしたらふわふわの泡になるのか試したり、友だちと比べ合ったりして楽しんでいる。できた泡に色水や、花びらを混ぜて、アイススクリームやジュースに見立てるなど、イメージを膨らませながら遊びが広がっている。

○虫探し・お家作り

春から虫に興味をもつ子が多く、ダンゴ虫を中心に捕まえて観察を楽しんでいる。最初は夢中で集めるだけだったが、捕まえた虫を入れ物に集め、「葉っぱ食べるかな」と虫の食べ物を考えて葉っぱを入れるなど、虫の生活に関心をもつ姿が見られる。また、砂山でダンゴ虫迷路を作ったりして動きを観察したり、砂山に虫のお家を作ったりして虫の動きに興味をもちながら関わっている。

＜ねらい＞

- 自分の考えやイメージを膨らませ、身近な素材を使って作ることを楽しむ。
- 友だちと考えやイメージを共有しながら遊びを進める喜びを味わう。
- 試したり工夫したりする中で気づきや発見を楽しむ。

＜内容＞

- 自分なりに考えたり工夫したりしながらイメージしたものを作る。
- 友だちと役割を決めたり、必要な物を話し合ったりしながらイメージを進めていく。
- 自然物を使った色水遊びや泡遊びで色々な変化に気づき、試しながら遊ぶことを楽しむ。

＜内容選択の理由＞

- 工夫したり、友だちと一緒に遊んだりする中で、思いを共有する楽しさを感じてほしい。
- 様々な素材や道具を使って、自分のイメージをもって表現することの楽しさや作り上げられた達成感を味わってほしい。

【日 時】 令和7年10月31日（金曜日） 9時30分～10時45分
 【対象児】 4歳児 ばら組（男児：4名 女児：9名）
 【担任名】 中地 瀬里奈 左近 奈月（支援加配）

【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

- 生活の流れやリズムが分かり、自分で考えて行動しようとする姿が見られる。
- 片付けの時間をあらかじめ伝えることで気持ちを切り替えて次の活動に移れるようになっている。
- 作った物や使った道具を整頓して片付けことが難しく、保育者の声かけや援助が必要な時もある。
- ＜発達の特徴＞
- 製作が好きで様々な素材を使ってイメージしたものを作り楽しんでいる。
- 色水で満足することも多かったが、最近では作った物で友だちと一緒に遊ぶ姿が見られる。
- 色水や泡などに興味をもち、混ぜる・移すなどの試行を通して変化を楽しむ。
- 自分の思いを言葉で伝えたり、友だちの意見を聞いたりしながら遊びを広げようとする姿が見えてきた。
- まだまだ幼く、自分で考えて行動する力がついていない子がいる。

＜遊びの特徴＞

○製作遊び

図鑑を見たり、自分のイメージを膨らませたりしながら、作りたいものを考え製作を楽しむ姿が見られる。虫や乗り物に興味をもつ子は、「ヘラクレスオオカブト作りたい」「クレール車は、荷物を引っかけられるようにしたんやで」などと言ひ、自分の知っている虫や乗り物の形を思い浮かべながら工夫して作り、細部までこだわった様子がある。ごっこ遊びに必要な小道具や衣装を作る子たちは、役割をイメージしながら必要な物を考え、工夫して作っている。友だちの作っている様子を見て、「これどうやって作ったん」「私も作りたい」と興味・関心をもち、友だちに作り方を聞いたり、友だちが作った物を参考にしたりして取り入れている姿も多く見られる。

完成した物を使って友だちとごっこ遊びをし、必要な物や作りたい物を日々見つけては遊んでいる。遊びを通して、子どもたちは自分のイメージを形にする楽しさや友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じている。

○アイドルごっこ

可愛い物やキラキラしたものが好きな子どもたちは、「キミとアイドルブリーキア」に憧れ、それぞれがなりたいたいキャラクターを思い描きながら遊び始めた。身近な素材を使ってオリジナルの衣装や髪飾り、マイクなどを作り、「私はこの子になる」と役割を決めてイメージを膨らませている。椅子を並べてステージを作り、自己紹介をしたり、歌を歌ったりして、アイドルになりきりる姿も見られる。また、コンサートを観に来る役の子も作った応援グッズを振ったり、拍手をしたりと楽しんだりしており、ステージ側と観客側の関わりが自然に生まれている。

数人のグループで遊ぶ中で、「あの子がまだ来ないわ」「次は私の順番ね」などとやりとりをしながら、自分たちで順番や進行を考え、友だちと役割を決めながら遊びを進める姿が見られている。

○お店屋さんごっこ

ある日、子どもが「お祭りでりんご飴を食べたよ」と話したことをきっかけに、お店屋さんごっこが始まった。製作が好きで子どもたちは、屋台で見たチョコバナナやかき氷などを思い出し、試行錯誤しながら作っていた。遊んでいると、「コンビニにおにぎりあるな」「アイスもよく買うで」と身近な経験から、作る物が広がっていった。遊びを進め

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
素材コーナーに、面用紙・空き箱・毛糸・ストローなど、様々な素材を分類して置き、子どもが自由に選びやすいようにする。	○製作遊び - 図鑑を見たり、身近なものからイメージを膨らませたりして虫や乗り物を作る。 - 素材の形や大きさ、色を見比べながら、自分のイメージに合う物を選ぶ。 - 友だちの作った物に刺激を受け、「それいいな」「どうやってつくったん」と真似したり教えたりもったりしながら友だちと関わって遊ぶ。 - 自分の思い通りにいかないときも、工夫したり保育者に相談したりしながら取り組む。 ○アィドルごっこ - 自分のイメージに合う素材を選んで、必要な物を工夫して作る。 - 役割を決めて友だちと一緒に遊ぶ。 - 歌をうたったり、自己紹介をしたりして、なりきって遊ぶ。 - 友だちや保育者にチケットを配る。 - 応援グッズを持った観客役の子どもも遊びに参加する。 ○お店屋さんごっこ - 作った衣装を着て店員になりきり、「いらっしゃいませ」「これがおすすめです」などと言葉のやりとりを楽しみながら、役になりきってお店屋さんごっこを楽しんでいる。 - お店に並べる商品を手なりに工夫して作った	- 子どもが作ろうとしているもののイメージを聞き、共感的に受け止める。 - 必要に応じて手伝ったり、「羽があったらもつ」とトンボに見えるかもしれないね」とイメージが膨らむような声かけをしたりする。 - 友だち同士で見せ合ったり、教え合ったりするために作ったものが見えようかなをつくる。 「〇ちゃんのことすてきね」と気づけるような言葉かけをする。 - 完成した物を飾ったり、遊びに使ったりできるようなし、達成感を味わえるようにする。	- 自分なりのイメージを持ち、好きな素材を選び、それぞれ工夫して作ろうとしているか。 - 友だちの作っている物を見たり、教え合ったり、真似したりしようとしているか。 - 友だちに自分のイメージを伝えたり、友だちのイメージを聞いていたりしているか。

	うにする。	・色水や泡の変化に気づいた子どもたちの声を受け止め、共感しながら「これはどれぐらい入れたの」「何の花をつぶしたの」と問いかけて周りの子にも気づけるような言葉かけをする。	・自分のイメージを実現するために混ぜ方や水・石鹸の量を自分なりに考えたり試したり工夫しているか。
り種類を増やしたりする。	○色水と泡遊び ・スボイトを使って色水を混ぜて、色の変化を試す。 ・混ぜた色を観察する。 ・花や葉っぱなどの自然物をつぶして色水を作り、植物によって出る色が違うことに気づく。 ・泡立て器やネットを使い、ふわふわの泡が作れるように工夫する。 ・泡がなくならないように泡立て器でかき混ぜ続ける。 ・作った色水と泡を混ぜてアイスクリームやジュースを作って遊ぶ。	・色水や泡の変化に気づいた子どもたちの声を受け止め、共感しながら「これはどれぐらい入れたの」「何の花をつぶしたの」と問いかけて周りの子にも気づけるような言葉かけをする。	・自分のイメージを実現するために混ぜ方や水・石鹸の量を自分なりに考えたり試したり工夫しているか。
・色水遊びや泡遊びがしやすいスペースを確保する。 ・遊びに必要な道具を置いておく。 ・赤・青・黄の食紅 ・自然素材 ・透明のカップ ・透明の小さいペットボトル ・スボイト ・卵の容器 ・石けん ・泡立て器 ・じょうご ・すり鉢 ・すりこ木棒 ・ボウル ・すりおろし器 ・カップやスコップなどの道具を用意する。	○虫探し・お家作り ・「ダンゴ虫みつけた」「ここにいっぱいおった」などと夢中で探す。 ・捕まえた虫にお家を作ろうと考え、砂山にカップを置いたり穴を掘ったりして虫の家を作る。 ○片付け ・自分の使っていた物を元の位置に片付ける。 ・遊びに夢中になり片付けができない子もいる。 ○お話タイム ・遊びの中で楽しかったことや、発見したことなどを自分なりの言葉で伝えようとする。 ・友だちの話に共感を示す姿が見られる。 ・保育者の問いかけをきっかけに、自分なりの考えを言葉で伝えようとする。	・保育者も子どもと一緒に片付けを行い、明日の遊びにつながるようにする。 ・一人ひとりの話に丁寧に耳を傾け、共感的に受け止める。 ・「どうしてそう思った」「どんなところが楽しかった」など、考えを深める質問を通して言葉で伝えられるようにする。	・自分のイメージを実現するために混ぜ方や水・石鹸の量を自分なりに考えたり試したり工夫しているか。



公開園【朝来幼稚園】

【日時】 令和7年10月31日（金曜日） 9時30分～10時45分
 【対象児】 5歳児 ゆり組（男児：6名 女児：7名）
 【担任名】 藤本 友美 上林 恵子（支援加配）

【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

○生活に必要な習慣が身につき、友だちと確かめ合ったり話をしたりしながら、見通しをもって行動している。

＜発達の特徴＞

○自分のしたい遊びを選択して遊んでいる。

○友だちとテーマを共有して、役割をもつて協力し合っている。

○考えや思いがぶつかることもあるが、自分たちで解決しようとする姿が芽生えている。

○遊びの中で、文字や数値、標識や記号などに触れることにより関心が高まっている。

○野菜の生長に興味をもち、世話をしながら収穫することを楽しみにしている。

＜遊びの特徴＞

○製作遊び

さまざまな素材や道具への興味関心が広がり、実際に使う中で特徴を知り、思い思いに製作遊びを楽しむようになっている。友だちと一緒に遊びたい玩具を作ったり、ごっこ遊びに必要な物を相談したりと「○○したいから○○を作りたい」と見通しをもって遊ぶ姿も見られる。絵本の『魔法の電子レンジ』を作ったことがきっかけとなり発展したカフェごっこでは、カフェにあると嬉しいものを想像し、食べ物、アクセサリ、音響設備などを次々に作っている。積み木や空き箱を利用して自分たちでレイアウトを考え、カフェ屋さんを開いて遊んでいる。小さい友だちが遊びに来ることもあり、遊び方を伝えたり、難しいところは手を添えてあげたりと思いやりの気持ちをもって関わる姿がある。

○バスごっこ～修理工場～

大きな段ボールを使ってみんなで何か作りたいと相談して電車作りが始まった。階切や切符を作って電車ごっこを楽しんでいたが、「幼稚園の友だちを迎えに行きたい」「じゃあ、バスの方がいいんちゃう」「どこでも行けるしそれがいい」と遊びがバスごっこへと変化した。みんなで遊びに必要なものを話し合い、園内にバス停を置き、ガソリンスタンドを設置した。遊んでいる中で、スピードを出しすぎると危ないと、信号機や標識を置こうというアイデアも出た。製作コーナーを修理工場と呼び、バスの手直しや、実際の信号機や標識に近づけるために試行錯誤しながら改良している。自分の思いや考えを友だちに伝え合いながら、役割を分担して遊ぶ姿が見られる。

○色水、泡遊び

1学期からの遊びの経験から、自分が作りたい色になると予想した草花を選んで、すりこ木ですり潰して色を作っている。同じ紫でも、微妙な調整を繰り返しながらグラデーションを作り、自分の納得がいく色にしようとする中になっている。また、泡と色水を混ぜて楽しむ中で、朝顔の紫の色水と泡を混ぜると、青色に変化することに気付いた。色の変化に興味をもって遊んでいる。

○ピタゴラスイッチごっこ

部屋で作って遊んでいたピタゴラスイッチを、といを使って砂場にも作っている。転がす物は何かがいいか、もっと早く転がすにはどうしたらいいかなど、楽しく遊ぶための工夫をしている。

＜ねらい＞

○友だちと一緒にイメージを膨らませ、協力して作ったり表現したりすることを楽しむ。
 ○身近な素材に興味や関心をもち、特性を知り、試したり工夫したりすることを楽しむ。

＜内容＞

○友だちのしていることにも関心をもち、取り入れたり、自分なりの方法で試したりする。
 ○廃材や道具を選び、遊びに使いたいものを自分で作ってみようとする。
 ○イメージを共有しながら、互いに考えを出し合い、認めつつ、一緒に作ったり表現したりしながらごっこ遊びを楽しむ。

＜内容選択の理由＞

○自分たちのしたい遊びを通して、友だちとの関係性が深まり、個人の遊びからカフェやバスごっこといった協働的な遊びへと変化してきた。友だちや異年齢児のことを思いやる姿も育ちつつあり、自己を発揮しながらも友だちの考えも受け入れようとしている。目的をもって一緒に遊びを進める楽しさを感じてほしいと思う。
 ○様々な道具や素材に触れる中で、気付いたり、工夫したり、自分なりのこだわりをもって遊ぶ姿がある。子どもたちのやってみてみたい気持ちや実現に向かっていく過程を大事にしたいと考えている。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
いろいろな素材や、素材に合わせた道具、子どもたちのイメージが膨らむような材料を、必要に応じてお	- 製作遊び - カプエごっこや遊びに使いたい物に合いそうな素材を選んで作り始める。 - 新たなアイデアや、作ったものをどう使うか、友だち同士で考えを伝え合いながら遊ぶ。 - 友だちが作った製作物を見て、興味をもって真似たり作り方を教えてもらったりする。 - 役割を分担してカプエごっこをする。バスに乗って買い物に来る子もいる。	- 遊びの様子や子どもたちの会話から、より遊びが充実するような環境をつくる。 - 子どもたちのイメージしていることが、共有されて遊びが進むように、気付いていることや感じていることを、周りに伝える。 - それぞれが発想し、夢中になって作る姿を認める。	素材や道具を、作りたいものに、よって考え、選んで使っているか。
- 段ボール、食品トレイ、棒芯、箱、紙粘土など - 布ガムテープ、セロテープ、ボンド、グルーガン、絵の具 - コーナーごとに作れる場所を十分に確保する。 - イメージしやすいように、広場に絵の具を用意する。 - 園内や園庭を自由に動けるように、職員間で遊びの共有しておく。	- バスごっこ - 昨日の続きをしようとして、修理工場に集まる。 - わくわく会議で出た案を形にしようとして、友だちとアイデアを出し合い、試してみるが、形にするのが難しい保育者に助けを求める。 - 修理屋さん、バスの運転手、お客さんなど、役割を分担してなりきって遊ぶ。 - 小さい友だちが遊びに入ってくると、受け入れ一緒に楽しむ。 - 作った物を使って友達と一緒に遊んでいく中で、気がついたことや困ったことがあると友達や保育者に伝える。	- 工夫しているところや、アイデアをとったりあげ、周りにも共有する。 - 子ども同士のやりとりを見守りながら、必要に応じて話に入り、子ども同士をつなげられるよう援助をする。 - 子どもの発想や気付きを大事にして、タイムインを見計らって材料などを出す。 - 保育者も遊びに参加し遊びの楽しさを共有する。 - 子どもが自分で考え行動するのを待つようにする。 - 友だちと相談しながら役割を決めて遊んでいるか。	- 作りたいたい物に合いそうな素材や道具を選んでいるか - 試したり工夫したりする姿が見られるか。 - 自分の考えを伝えたり、友達に思いを傾けたりしようとしているか。 - 友だちと相談しながら役割を決めて遊んでいるか。
- 色水遊びや泡作りの道具を用意する。 - ボール、すり鉢、すりこ木、漏斗、ネット、泡立て器、石	- 色水遊び - 試したい草花を探して、すり潰して色水を作る。 - きれいな色水を作った光にかざしたり、グラデーションにしたりして楽しむ。	- 友だちのしていることにも関心が向くように、子ども同士をつなげる言葉かけをする。 - 色水の変化に驚いたり、喜んだりする姿に共に	- 気付いたことを友だちに伝え合っているか。 - 色水のきれいなさや、変化にお

けん	しむ。	感ずる。	もしろさを感じているか。
- 色の変化が分かる透明カップや卵パックなど分けやすい小 - さめの容器を置いておく。 - 作った色水や泡が置いておける場所を用意する。	- 色水と色水、色水と泡を混ぜて色の変化を楽しむ。 - 小さい友だちに「水は少ない方がいよいよ」「この色はこうやって作るんやで」と作り方のコツを教えている。	何度も試してみても認め、気に入った色水を友だちと共有できるように仲立ちとなる。	友だちと遊んでいるか。
- 遊びに使うと予想される物を、砂場の側に置いておく。 と、い、バケツ、スコップなど - 足拭きマットを置いておき、いつでも次のしたい遊びができるようにする。	- ピタゴラススイッチ - 実際にいろいろなものを転がしてみても、もつと早く転がしたいと、と、い、高低差を調整したり水を流したりする。 - ゴールを決めて、うましく入るようになら返す。 - 水流のできる水路に注目し、土の削れていく様子を見て喜んだり、せき止めてみたりする。	- どうしたら思うように転がるのか、自分の思いを友だちに伝え、相談して遊ぶ様子を見守る。 - 思うようにいかずに困っている時は、周りの友だちの様子に関心をもち、自分で、自分で、自分でやってみようとする気持ちを高める。 - それぞれの興味関心に寄り合い、じっくり遊べるように見守る。	友だちと遊んでいるか。
物を置く場所を分類しておいたり、写真を貼っておいたりする。	- 片付け - わくわく会議が始まる - ことが分かったり、使った物を元に戻したり、続きを - したい遊びは寄せておいたりする。 「これは誰のかかな」と友だちに尋ね、作った作品を大事に扱う姿がある。	- 子どもたちの遊びの様子から、わくわく会議にかかる時間を想定して、声かけをする。 - 楽しかった思いに共感し、次に遊ぶ時のことを考えて片付けができるよう言葉かけをする。	次の遊びのイメージやそれぞ
円形になってお互いの顔を見ながら話ができるようにする。	- わくわく会議 - 遊びの中でわくわくしたこと、友だちに助けてほしいこと、友だちの遊んでいたところを見て思ったことをみんなに伝えようとする。 - 自分の思いが表現しにくい子や、友だちが話している途中で話し出す子もいる。	- 子どもたちの感じたことや考えたことに寄り添いながら、子ども同士で話が進む場合は見守るようにする。 - 遊びの展開を予測し、あえて話題として取り上げ、共有することに関心が向くようにする。	次の遊びのイメージやそれぞ



公開園 【相愛こども園】

【日 時】

令和7年11月27日（木曜日） 9時30分～10時45分

【対象児】

0歳児 ひよこ組（男児：11名） 7ヶ月～1歳7ヶ月

【担任名】

和田 麻衣子 堀田 依理 大槻 咲季 西山 由佳 山田 詩織

【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

◎7ヶ月～11ヶ月

○保育者と一緒に音の鳴る玩具を触って遊んだり、触れ合い遊びを喜んでいる。

○保育者に言葉を掛けられながら、オムツを替えたり着替えをして心地よく過ごしている。

◎1歳0ヶ月～1歳3ヶ月

○「いただきます」と手を合わせてたり、歌を歌うと手拍子したり、保育者の真似をしながら楽しんでいる。

○食事を見たり嬉しそうに声を出す。手掴みで食べたり、保育者に声を掛けてもらいながら一人ひとりのペースで食事を楽しんでいる。

◎1歳4ヶ月～1歳7ヶ月

○保育者の呼びかけに「はい」と手を挙げて答えたり、「ちようだい」「どうぞ」などのやり取りも少しずつ楽しんでいる。

○食事の際には自分で手洗いやテーブルに向かう姿がある。手掴みやスプーンを使い意欲的に食べたりの、コップを持って飲んだりしている。

＜発達の特徴＞

◎7ヶ月～11ヶ月

○保育者との愛着関係ができ、そばにすることで安心して好きな遊びを楽しんでいる。見慣れない人がいると担任にくついたりして人見知りも見られる。

○話しかけたり、歌を歌うと笑顔が見られる。

◎1歳0ヶ月～1歳3ヶ月

○つかまり立ちをしたり、ハイハイ、伝い歩き、歩行で行きたい場所へ移動している。

○「ばあ」「あへ」と喃語で気持ちを伝えようしたり、保育者の語りかけに笑ったりうなずいたりしている。

◎1歳4ヶ月～1歳7ヶ月

○歩行が安定してきた子は行動範囲が広がり、自分の好きなところへ向かって歩いたり、走ったり、階段や斜面をのぼるなど、体を動かすことを楽しんでいる。

○玩具を入れる、ひっぱる、積むなど指先を使った遊びも楽しめるようになってきている。

○保育者や友だちがしていることに興味をもち、そばに行き真似しようとする姿も見られる。

＜遊びの特徴＞

○体を使った遊び（マットの山、トンネル、手押し車を押して歩くなど）

・歩行が安定した子は靴を履いて園庭や遊戯室を歩くことを楽しんでいる。

・は、トンネルをくぐったり、マットの山をのぼりおしたりと、自由に体を動かして楽しんでいる。

・すり違いやハイハイ、伝い歩きの子も自分の動ける範囲で保育者とトンネルで

「いないいないばあ」を楽しんだり、手押し車を押して遊び、呼びかけると嬉し

そうに保育者がいる方へ進んでいく姿が見られる。

○身近な人と関わる遊び（ままごと、絵本、季節の歌、触れ合い遊びなど）

（ままごと）

・コップを合わせて「かんぱーい」と乾杯したり、容器に食べ物を入れてスプーンで混ぜたり、食べる真似をしたり、保育者や友だちに「あーん」と食べさせようとしている。

・不織布をペットボトルに入れてジュースに見立て、飲む真似をしたり、「じゃー」と言いながら入れようとしている。



（絵本）

・好きな絵本を出してきて自分で見たり、保育者の元に持ってきて膝の上に座り、読んでもほしいことを伝えている。指差ししながら動物の名前を言ったり、動きを真似したり、終わると「かい！（もういいかい）」と保育者に伝え、繰り返し楽しんでいる。

（歌・触れ合い遊び）

・保育者が季節の歌を歌うと一緒に踊ったり、手を叩いて喜ぶ姿が見られる。

・「いないいないばあ」の遊びを繰り返し楽しんだり、音楽に合わせて体に触ってもらうことを喜んでいる。また、月齢の高い子は簡単な体操などでも触れ合いを楽しんでいる。

○身近なものと関わる遊び（指先を使った遊び、音を出す遊び、感触遊びなど）（指先を使った遊び）

・ぼつとん落とし、チェーン落としでは、様々な形、感触の違うものを準備し、穴に入れて楽しんでいる。穴に入るように持ち方を教えたり、向きや入れる穴を変えたりといろいろ試しながら遊ぶ姿が見られる。

・シール貼りに興味をもち始めた子は、自分で台紙から剥がして貼ったり、指先にくっつけて取れない時に『どうしたらいいだろう』と考えながら遊んでいる。一人でできた時にはパチパチと拍手をして喜ぶ姿もある。

（音を出す遊び）

・低月齢の子は叩くと音楽が鳴る玩具を喜んでいる。

・ビーズを入れたペットボトルを、マラカスのように振って音が鳴るのを楽しんでいる。

（感触遊び）

・センサリーマットを手で触ったり足で踏んだり、上に座ったりして全身で感触を楽しんでいる。

・センサリーボトルを傾けたり転がしたりしながら、揺れ動くものを眺め、目で追って楽しんでいる。



＜ねらい＞

○保育者と一緒に体を動かす楽しさを味わう。

○保育者との触れ合いを楽しんだり、思いを身振りや表情、言葉で伝えようとする。

○身の回りの物に興味・関心をもち、色・音・感触を味わったり、自分なりに関わろうとする。

＜内容＞

○マットの山をのぼる、おりる、トンネルをくぐるなど体を使った遊びを楽しむ。

○動物や食べ物の絵本を見る、歌を歌うなど保育者との関わりを楽しむ。

○手指を使う遊び（ぼつとん落とし・チェーン落とし・スタッキングカップ・シール貼りなど）をする。

○様々な感触（ちくちく・ふわふわ・ザラザラ・冷たいなど）を手足で感じて遊ぶ。

＜内容選択の理由＞

○ハイハイ、伝い歩き、歩く、走る、隠れる、くぐるなど体を動かす楽しさを味わったり、探索活動を十分に楽しんでいると考えている。

○保育者との安心できる関係を基盤に、身の回りの物に興味・関心をもち、自分の好きな遊びを楽しめる姿がある。『これがしたい』『あれはいや』『などの一人ひとりの思いを受け止めながら、『なんだろう』『やってみよう』『もう一回』という好奇心を満たせる環境を整え、子ども達に楽しんでほしいと考えている。

○保育者と触れ合うことに心地良さを感じ、模倣することを楽しんでほしいと考えている。

○様々な物に興味・関心をもち、色・音・手触りなどを感知、不思議さや面白さを味わってほしいと考えている。

環境構成	予想される子どもの姿 (高月齢)	保育者の援助と配慮	評価の観点
【遊戯室】 - 子どもの成長発達に合わせた体をのびのびと動かして遊べるように様々な遊具を組み合わせる。 - マットの山 - トンネル - 手押し車 【保育室】 - 子どもの興味関心に応じて遊具を整え、手に取りやすい場所に玩具を置く。また、低月齢の子もゆったりと遊べるように場所を確保する。	- 月齢の低い子や少数の方が見て遊べるように、静かな環境で落ち着いて眠れるようにする。 ○体を使った遊び - 斜面やマットの山を歩いたり這ったりしてのぼりおろし、また、お尻で滑り降りる子もいる。 - ハイハイでトンネルをくぐる。出口で友だちが出てくるのを待っている子や、「ばあ」と出てくる子もいる。 - 手押し車につかまったり、歩いたりする。	- 一人でのべられない子は必要に応じて援助する。 - 自ら体を動かそうとする意欲が芽生えるように「おいで～」 「までまで～」などと言葉をかけて誘いかけて、保育者も一緒に体を動かして楽しむ。 - 歩きたい気持ちを大切にしつつ、まだバランスが取れない子もいるのでそばで見守り、危険がないようにする。 - 安心して遊べるようにそばで見守り、一緒に遊ぶようにする。	- 手助けしてほしい時や見てほしい時に保育者に視線を向けたり、発声して伝えようとしているか。 - のぼったり、おろしたり滑ったりして、体を動かすことを楽しんでいるか。
- ぼっとん落とし - チェーン落とし - センサリーボトル - スタッキングカップ - シール貼り など	○指先を使う遊び - ぼっとん落としを持ち、保育者に蓋を開けてほしいことを仕草や発声で伝える。 - 入れるものや穴に合わせ向きを変えたり、入れ方を変える等、様々な方法を試しながら繰り返し遊ぶ。	「入ったね」「すげえね」と応答的な関わりをし、喜びを共有する。 - 蓋を開けてほしいと持ってきた子には、「あけて～」などと子どもの思いを言葉にして返していく。 - そばで見守り、必要に応じて手を貸したり、一緒に楽しむ。	- 要求を声に出したり、ジェスチャーで伝えようとしているか。 - 繰り返し遊びを楽しんでいるか。
- 生活で使っている物や親しみのある食べ物を用いる。 - お皿 - コップ - 鍋 - スプーン - キッチン - 人形 など	○ままごと - お皿に食材を入れ、スプーンで食べる真似をしたり、保育者や友だち・人形に食べさせる真似をする。 - コップを持ち、友だちや保育者と乾杯したり、飲む真似をする。 - フライパンや鍋に食材を入れ、「ジュージュー」と調理する子もいる。 - 友だち同士で「ちょうだめる空間と道具を整える。	「おいしい」「いただきます」など、子どもの姿に合わせて声をかける。 - 食べ物を見せてくれたり、食べさせようとしてくれた時には「パンあったね～」 「りんごおいしいね」など応答的に関わる。 - 友だち同士での遊びも広がるようにやり取りを楽しむ。	- 身近な物に親しみ、真似をして遊ぶ姿が見られるか。 「どうぞ」「モグモグ」など、簡単なやり取りを楽しむ姿は見られるか。

環境構成	予想される子どもの姿 (高月齢)	保育者の援助と配慮	評価の観点
【遊戯室】 - 子どもの成長発達に合わせた体をのびのびと動かして遊べるように様々な遊具を組み合わせる。 - マットの山 - トンネル - 手押し車 【保育室】 - 子どもの興味関心に応じて遊具を整え、手に取りやすい場所に玩具を置く。また、低月齢の子もゆったりと遊べるように場所を確保する。	- 月齢の低い子や少数の方が見て遊べるように、静かな環境で落ち着いて眠れるようにする。 ○体を使った遊び - 斜面やマットの山を歩いたり這ったりしてのぼりおろし、また、お尻で滑り降りる子もいる。 - ハイハイでトンネルをくぐる。出口で友だちが出てくるのを待っている子や、「ばあ」と出てくる子もいる。 - 手押し車につかまったり、歩いたりする。	- 一人でのべられない子は必要に応じて援助する。 - 自ら体を動かそうとする意欲が芽生えるように「おいで～」 「までまで～」などと言葉をかけて誘いかけて、保育者も一緒に体を動かして楽しむ。 - 歩きたい気持ちを大切にしつつ、まだバランスが取れない子もいるのでそばで見守り、危険がないようにする。 - 安心して遊べるようにそばで見守り、一緒に遊ぶようにする。	- 手助けしてほしい時や見てほしい時に保育者に視線を向けたり、発声して伝えようとしているか。 - のぼったり、おろしたり滑ったりして、体を動かすことを楽しんでいるか。
- ぼっとん落とし - チェーン落とし - センサリーボトル - スタッキングカップ - シール貼り など	○指先を使う遊び - ぼっとん落としを持ち、保育者に蓋を開けてほしいことを仕草や発声で伝える。 - 入れるものや穴に合わせ向きを変えたり、入れ方を変える等、様々な方法を試しながら繰り返し遊ぶ。	「入ったね」「すげえね」と応答的な関わりをし、喜びを共有する。 - 蓋を開けてほしいと持ってきた子には、「あけて～」などと子どもの思いを言葉にして返していく。 - そばで見守り、必要に応じて手を貸したり、一緒に楽しむ。	- 要求を声に出したり、ジェスチャーで伝えようとしているか。 - 繰り返し遊びを楽しんでいるか。
- 生活で使っている物や親しみのある食べ物を用いる。 - お皿 - コップ - 鍋 - スプーン - キッチン - 人形 など	○ままごと - お皿に食材を入れ、スプーンで食べる真似をしたり、保育者や友だち・人形に食べさせる真似をする。 - コップを持ち、友だちや保育者と乾杯したり、飲む真似をする。 - フライパンや鍋に食材を入れ、「ジュージュー」と調理する子もいる。 - 友だち同士で「ちょうだめる空間と道具を整える。	「おいしい」「いただきます」など、子どもの姿に合わせて声をかける。 - 食べ物を見せてくれたり、食べさせようとしてくれた時には「パンあったね～」 「りんごおいしいね」など応答的に関わる。 - 友だち同士での遊びも広がるようにやり取りを楽しむ。	- 身近な物に親しみ、真似をして遊ぶ姿が見られるか。 「どうぞ」「モグモグ」など、簡単なやり取りを楽しむ姿は見られるか。



公開園【相愛こども園】

【日時】 令和7年11月27日（木曜日） 9時30分～10時45分
 【対象児】 1歳児 りす組（男児：9名 女児：9名）
 【担任】 宮根 亜耶 長嶋 美桜 陣垣 美幸

【子どもの姿】

＜子どもの生活の特徴＞

- 言葉の理解が進み、簡単なやり取りをする姿が見られる。
- 自分の名前やマークを理解し、身の回りの用意等ができるようになってきている。
- 苦手なものもあるが、スプーンやフォークを使って、意欲的に食べる姿が見られる。

＜発達の特徴＞

- 全身を使って動くことが楽しく、探索活動が活発になっている。
- 身の回りの自然物に興味をもち、「これはなに？」というように観察したり触れて確かめようとする。
- 友だちと同じ遊びに関心をもち、真似をしたり一緒に遊ぶ姿が見られる。

＜遊びの特徴＞

- 運動遊び（室内）
 - ・マットの山を足や腕を使って登り、上で立ってバランスをとってみる子や、すべり台のようになり滑って楽しむ子の姿が見られる。頭から滑ろうとしたり、上からジャンプで降りようとする子もおり、自分なりにさまざまな身体の動きを試しながら遊びを楽しんでいる。坂道では、すべり台のように滑ったり、立って降りようとする姿も見られ、全身を使って身体の使い方を確かめるようにして遊ぶ姿が見られる。

○戸外遊び

- ・友だちと一緒にすべり台を滑ったり、ブランコに乗ったりして、身体を動かす遊びを楽しむ姿が多く見られる。ブランコでは、保育者と一緒に「いーち、にー」と数を数えながら順番を待って乗るなど、簡単なやり取りを楽しみながら遊べる。砂場では思い思いに遊びを広げ、保育者や友だちとの関わりを楽しむ様子がある。手押し車を押したり、おもちゃや友だちを乗せて押すなど、力の加減を確かめながら全身を使って遊ぶ姿も見られる。



○転がし遊び

- ・松ぼっくりに興味を示し、手に取って触ったり、転がしたりする姿が見られる。松ぼっくりの動きが止まった時には、手で転がす姿も見られる。

○まごど遊び

- ・食べ物やスプーンを使って料理をし、保育者に「どうぞ」と持ってくる姿が見られる。また、人形をベッドに寝かせてトントんと優しくあやしたり、話しかけたりするなど、身近な大人の姿を模倣して遊ぶ様子もある。「（人形を）おんぶしたい」と身振りや言葉で保育者に思いを伝える姿も見られ、保育者との関わりを楽しんでいる。



○ボールプール

- ・一人用の狭い空間でくつろぐ姿が見られる。自分の居場所としている子がいる。

○パズル

- ・形合わせのパズルに興味を示し、ピースをはめる動作を楽しんでいる。指先を使いながら集中して試行錯誤する姿がある。

○ぼつとん落とし

- ・椅子に座ってじつくりと取り組む姿が見られる。全部入れ終わると自分で蓋を開けようとしたり、難しい時には保育者に「開けて」と身振りや言葉で伝える姿もある。容器を変えたり、色を合わせて入れるなど、考えながら遊ぶ姿も見られ、集中して取り組むことを楽しんでいる。



○絵本

- ・絵本コーナーのソファアに座って読んでいる姿が見られる。歌の絵本では、歌を口ずさんだり手遊びをしながらページをめくって楽しむ子がいる。図鑑では、知っているものを見つけたと保育者に指さして伝えたり、知らないものに興味をもち「これなに？」と質問する姿も見られる。

＜ねらい＞

- 身体を動かすことを楽しむ。
- 秋の自然物に触れ楽しむ。
- 保育者や友だちに、身振りや表情で自分の思いを伝える喜びを味わう。

＜内容＞

- 部屋や戸外で、歩く、走る、登る、くぐるなど、身体を十分に動かして遊ぶ。
- 散歩や園庭で拾った自然物（落ち葉、どんぐり、松ぼっくりなど）を使い、転がしたり落としたりして動きや音を楽しむ。
- まごどを通して、保育者や友だちの真似をしながら自分なりに表現をし、言葉でも簡単なやり取りを楽しむ。

＜内容選択の理由＞

- 全身の筋力やバランス感覚を養い、身体を動かす心地よさを味わってほしいと考えている。また、保育者に見守られながら挑戦することで、「できた！」という達成感を得て、自信や意欲も育ってほしいと考えている。
- 自然物を振る、転がす、落とすなどの動きを通して、音や動きの変化を楽しむ、感性を豊かにしてほしいと考えている。
- まごどを通して、経験したことを思い出しながら表現したり、見立てたりして遊ぶことを楽しんでほしいと考えている。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
【鑑賞保育室】 - 小さなソファアーに座り、落ち着いて絵本を楽しむようにする。 - 写真の絵本を多く取り入れ、興味を持ちやすい絵本を準備する。 - てなたましように - わんわんにやんにやん - うなのいきもの	○絵本 - 写真を見て「これはなに？」と保育者に尋ねる。 - 保育者に「よんで」と膝に座り、一緒に絵本を楽しむ。 - 何もしないで読む。 - 友だちと一緒に手遊びの歌を歌いながら読む。 - 友だちと一緒にソファアーでくつろぐ。 ○パズル - 一人で集中して取り組む。 - パズルを使って見立て遊びをする。 - イラストの名前を言う。 - パズルを並べ、遊ぶ。	- 見えた物を保育者に伝えたり、「これはなに？」と尋ねたりする姿に応答的に関わる。 - 読んでほしい気持ちで丁寧に受け止める。 - 普段から手遊びをし、一緒に歌を歌って共有ができるようにする。 - くつろいでいる所を見守り、時に寄り添う。	- 自分の気持ちを身振り手振りで伝えているか。 - 写真や絵を見て興味を示しているか。
- 集中できる空間を作る。 - 大きくて触りやすいビーズを用意し、一歳児でも簡単に遊べるようにする。 - シンブルで、子どもが興味をもちやすいようにする。	○ぼつとん落とし - 集中して入れる。 - 色を分けて入れる子もいる。 - パーツは小さすぎず、誤って口に入れた場合も危険がないように作る。	- 集中している時は見守る。 「できない」と持ってきた時には一緒にし、「できた」喜びを共有する。 - 友だちと一緒に言葉のやり取りが増えるように「ここにする？」等声を掛け、広げていく。 「できなかつたの？」と気持ちを止めさせる。	自分で試したり、上手にこなした時に保育者に助けを求める姿が見られるか。
- 身近な生活を模倣して遊ぶよう。キッチンセットや食べ物、お皿、人形などを用意する。 - 子どもに合った机と椅子を用意する。 - おもちゃの収納場所を決めて片付けやすくする。	○まごこと - お皿に食べ物を並べて、保育者の所に「どうぞ」と持ってくる。 - フライパンにチャーンを入れて混ぜ、作る事を楽しむ。 - 人形にミルクをあげ、ベッ トに寝かせてトントンする。 - また、「おんぶして」とおんぶ組と人形を持ってお世話遊びを楽しむ。 - 電子レンジに食べ物を入れて、「あちち」と保育者に持ってきてくれる。 - お皿の入れ物に食べ物を入れ、割り箸を繰り返す。 - 使いたいものが一緒にになり、取り合いになる時がある。 ○すべり台 - 階段を登り、高い所から「やっほー」と声を掛けた	- 見立て遊びを十分に楽しめるように子どもの言葉や行動に共感し、応答的に関わる。 「いただきます」「もぐもぐ」「おいしい」「とんとんしての？」等、生活の中の言葉や共感的な言葉掛けをしてやり取りを楽しむようにする。 「これが使いたかつたの？」等、気持ちを止める。 「これが使いたかつたの？」等、気持ちを止める。	「どうぞ」「ありがとう」等、簡単な言葉や身振りでやり取りを楽しんでいるか。 - 保育者や友だちと関わる中で真似たり、やり取りを楽しんでいるか。

・ブランコ ・手押し車 ・どんぐりマラカス ・松ぼっくりコースター ・落ち葉	・十分に身体が動かせるよう安全に気を付け、発達段階に合った遊具を用意する。	り、「せんせー」と呼ぶ。 ・友だちと呼び合い、一緒に滑ることを楽しむ。 ・手で滑ぐと早く滑ることに気づき、友だちと共有する。 ○砂場 ・保育者と一緒に型抜きをしたことで、自分で挑戦する。 ・おもちゃを持って、「つくってほしい」と保育者に身振り手振りで知らせる。 ・作ったもので見立て遊びをする。	どもの思いを受け止め、応答しながら言葉のやり取りを楽しむようにする。 ・友だちと呼び合いながら一緒に滑る姿を見守る。	ことを楽しんでいるか。 ・手や道具を使って砂の感触を楽しむ姿が見られるか。 ・「どうぞ」「して」などのやり取りや、保育者や友だちと一緒に遊ぶことを楽しんでいるか。
	○ブランコ ・保育者と一緒に「はいち、にーい」と教えて順番を待つ。 ・自分で動かそうと身体を動かす。 ・「せんせーおして」としてほしい気持ちを伝える。 ・代わってほしい思いから、前に来てぶつかかることもあ	る。 ○手押し車 ・押すことを楽しんだり、バケツやおもちゃを運ぶ。 ・後ろ向きに乗り、足で蹴って遊ぶ。	・後ろ向きに進む際、進行方向が見えず友だちにぶつかりそうな時は、「前見てね」「お友だちいるよ」と声をかけ、安全に遊べるように配慮する。	・手押し車を使って自分なりの遊びを楽しむか。
	○どんぐりマラカス ・保育者の歌に合わせて、音を鳴らし楽しむ。 ・太鼓のバチのように両手に持ち、打つことを楽しむ。	・松ぼっくりコースター ・繰り返して予想外の動きを楽しむ。 ・転がらなかつたときには「あれ？」と言い、もう一度転がし直したり止まっている松ぼっくりを指でちょんと押して動かそうとする。	・子どもが歌に合わせて鳴らすことを楽しめるように、一緒に歌いながらリズムを取る。	・自然物に興味を持ち、音や感触を楽しむか。
	○落ち葉 ・ちぎる、集める、散らすことを楽しむ。 ・落ち葉を見つけたことを保育者に伝える。		・ちぎったり散らしたりする動作を見守りながら、「カサカサって音するね」等、感覚に気づけるような声かけをする。	・転がすことを楽しんで、音や感触を楽しむか。



公開園【相愛こども園】

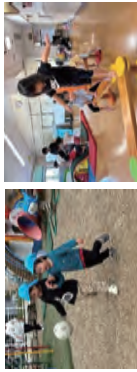


- 太鼓
 - ・年長児がしていた日本太鼓の影響を受け、曲を流してほしいと保育者に伝え、太鼓を叩いて遊んでいる。年長児が部屋まで教えに来てくれることもあり、異年齢での関わりも楽しんでいる。

- お絵描き
 - ・好きな色のクレヨンで線や丸などを描き、イメージしたものを自分なりに描いて楽しんでいる。

- 粘土
 - ・自分達で粘土の入れ物を出し、丸めたり伸ばしたりしながら「へび」「みてーお団子」と見立てながら遊んでいる。

- 運動遊び
 - ・戸外の総合遊具で、身体を動かして遊んだり、三輪車を漕いだり、登り棒を自分で登ったり降りたりして楽しんでいる。
 - ・友だちや保育者と一緒にサッカーボールを蹴ったり、追いかけてっこをして遊んでいる。
 - ・平均台や橋渡り等をしたリ、2段の高さの跳び箱かジャンプして遊ぶ姿が見られる。



- 砂遊び・ままごと
 - ・「アイスクリームです」「ケーキつくろ」と砂で作った物を見立てながら遊んでいる。幼児組の子ども達も楽しんでいる遊びにも興味をもち、真似をして遊びに加わり、異年齢での関わりも楽しんでいる。



- ＜おねらい＞
 - 好きな遊びを通して、友だちや保育者と一緒に言葉のやり取りをを楽しむ。
 - ごっこ遊び等を通して様々な素材に触れたり、見立てて遊んだりすることを楽しむ。
 - 体を動かす楽しさを味わう。

- ＜内容＞
 - ごっこ遊びをしたり、見立てて遊んだりする。（ままごと、病院ごっこ、車遊び）
 - 音楽に合わせて太鼓や体を使って表現する。
 - 車、マグネット、バズル等組み合わせて遊ぶ。
 - 平均台でバランスをとって渡ったり、跳び箱のよじ登りや飛び降りジャンプをして体を動かす。

- ＜内容選択の理由＞
 - 友だちや保育者と遊ぶ中で言葉でのやり取りを楽しんだり、身振りや手振り等を使って自分の思いを伝えようとする姿が見られる。子ども達遊びを通して他者と関わる楽しさを味わってほしいと考えている。
 - 「一緒にあーそーぼ」「いれて」「貸して」「あとで」等、自分の思いを伝えようとする姿が増えてきている。遊びを通して自分の思いや言葉表現しながら楽しんでほしいと考えている。
 - 体を動かすことが好きで、以前までは怖くてできなかったことにも挑戦しようとする姿がある。できるようになった喜びを実感し、体を動かす楽しさを味わってほしいと考えている。

【日 時】 令和7年11月27日（木曜日） 9時30分～10時45分
 【対象児】 2歳児 うさぎ組（男児：14名） 女児：14名
 【担任名】 福井 夏妃 谷山 京子 稲葉 そら 梅垣 友希 鈴木 り子

- 【子どもの姿】
 - ＜子どもの生活の特徴＞
 - 朝の靴の用意をする、戸外へ行く際は帽子を被って準備する、食事前には手を洗う等、1日の流れをおまかに理解して生活している。
 - 食事面は自分で何でも食べられる子、自分の食べられる量を調節してもらい食べる子など様々で、楽しい雰囲気の中で食事をしている。
 - 着脱面では自分で服を脱ぎ、裏返った服を直して畳み、新しい服を着ようとする。難しい時は手伝ってもらいながらやってみようとする姿も見られる。
 - 排泄面では尿意を感じて自らトイレへ行く子や、促されてトイレに行く子等個人差がある。

- ＜発達の特徴＞
 - 一人遊びを楽しんでいる子達も少しづつではあるが気の合う友だちと一緒に遊びを楽しむ姿が見られるようになってきている。「貸して」等の言葉でのやり取りが難しくトラブルになることもあるが、保育者が仲立ちをして気持ちを代弁すると、一緒に気持ちを伝えようとする姿が見られる。
 - 言葉でのやり取りが増えてきており、自分の思いや経験したこと等を一生懸命話している。

- ＜遊びの特徴＞
 - ままごと
 - ・食べ物やお皿やお弁当箱に入れたり、冷蔵庫から飲み物を出してコップに入れて、友だちや保育者に「はいどうぞ」と言ってやり取りを楽しんでいる。
 - ・「一緒にカレーつくろ」「これ〇〇がつくった」「ちゅるちゅるくさーい」「一緒にピクニックしよう」等、友だちや保育者と言葉のやり取りをしながら楽しんでいる。
 - ・毛糸を種類に見立てたり、素材を使っておにぎりや海苔巻きを作ることを楽しんでいる。
 - ・流し台ではスポンジを持ってお皿を洗い、洗剤を流している。
 - ・人形用の椅子に人形を座らせて、「ご飯あげてのり」と自分が作ったご馳走を食べさせてあげたり、ミルクを飲ませてあげたりしてお世話することを楽しんでいる。
 - お風呂場では、「お風呂に入る」と言って友だちや人形と一緒に風呂に入ったり、頭や体を洗って遊んでいる。
 - 中にはお風呂に入っている友だちの髪の毛をシャブーして流してあげて遊ぶ姿など、友だち同士でのやり取りを楽しみむ姿も見られる。



- お医者さんごっこ
 - ・「患者さん熱いです」「お口あけて」「ぼんぼんぼん」と言って友だちや人形に聴診器を当てたり、帽子を被って病院の先生になりきって遊んでいる。
 - ・「お薬です」「注射します」と自分達の経験を元に再現しながら友だちや保育者とのやり取りを楽しんでいる。

- 車遊び
 - ・自分達で道路を繋げて、「かんかんかん」「どうぞ」と言葉を変えながら車を走らせて遊ぶことを楽しんでいる。警察官や消防士の帽子を被り、役になりきって遊ぶ姿も見られる。

- パズル
 - ・以前はピースの多いパズルは難しかった子も、見本を見たり分らない時は保育者に「これどこ？」と尋ねながら遊び、できた喜びを感じながら楽しむ姿が見られる。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
【保育室】 ・遊びを選択しやすいように玩具を取り出しやすい高さや場所に配置する。 ・見立てて遊ぶように道具を用意する。 ・机・椅子 ・冷蔵庫 ・電子レンジ ・食器棚・洗い場 ・コンロ ・調理道具・鍋 ・フライパン ・見立てられる食材の素材 ・玩具の食べ物 ・かばん・シート ・エプロン・三角巾	・自分の好きな遊びを見つけて遊びます。 ・友だちや保育者と一緒に遊ぶ。 ○まごごと ・フライパンやお鍋の中に食べ物を入れ、コンロで調理をする。 ・包丁で食材を切ったり、お皿に盛りつけたりする。 ・でし上がった料理をテーブルの所へ持って行き、人形や友だち、保育者に食べさせたり自分で食べる真似をしたりする。 ・作った料理をお弁当箱に詰めてカバンに入れ、シートを敷きビクニツクをする。 ・「はいどうぞ」とできたらお弁当を渡したり、「○○が作った」などと言葉のやり取りをする。	・安心して遊び始められるように思いや要求を受け止める。 ・保育者も遊びの中に入り込み、子ども達の言動や行動、思いを共感しながら子ども同士の関わりを楽しめるようにする。 ・料理を「いただきます」「おいしいよ。○○くん（ちゃん）も食べる？」と食べさせる真似をし、「ごちそうさまでした」と言ったり、食事をイメーজしやすいように声を掛ける。 ・「わあ、おいしそうだね。何が入っているの？」と聞いかけるなどして、言葉でのやり取りを楽しめるようにする。	・フライパンや鍋に食材を入れ「ジュージュー」と言いながら混ぜる真似をしたり、作った食べ物をお皿やお弁当箱に入れ、イメージを膨らませながら楽しんでいるか。 ・友だちや保育者へ「一緒に作ろうね」「おいしいね」などと簡単な言葉でのやり取りも楽しんでいるか。
・注射器・聴診器 ・体温計・薬 ・ベッド（布団） ・お医者さんの帽子	○病院ごっこ ・ベッドに寝転び患者さんになったり、お医者さんの帽子を被って先生になりきって遊ぶ。 ・人形と一緒に病院へ行き、診察する。 ・「おなか痛いです」「赤ちゃんお熱です」「次の方どうぞー」「注射します」「お薬です」等、言葉でのやり取りもしながら遊ぶ。	・友だち同士でのやり取りが楽しめるように見守り、必要に応じて仲立ちする。 ・「どこがしんどいですか？」と尋ね、言葉のやり取りができるよう言葉掛けをする。	・友だちや保育者と簡単な言葉のやり取りを楽しんでいるか。 ・友だちや保育者と一緒に遊ぶ。
・牛乳パックで作った車（消防車・救急車・バトカー・新幹線・お店等） ・線路・道路 ・坂道・信号機 ・踏切	○車あそび ・線路や道路・坂道を繋ぎ合わせ、所望の線などを走らせて遊ぶ。 ・警察や消防、救急隊の帽子を被り、「警察です。困っている人はいますか？」「どろぼうで	・「カンカンカン」「どろぼうどろぼう」と踏切の真似をし、イメージして楽しむように一緒に遊び込む。 ・「信号機何色になった？」と声を掛け、色へ	・線路や道路を繋ぎ合わせ、所望の線などを走らせてイメージしながら遊んでいるか。

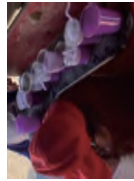
帽子（警察、消防、救急隊）を子ども達が自分で取って遊べるように洗濯バサミに挟んで用意する。	すか？」とおまわりさんのようにイメージし、友だちと一緒に遊ぶ。	の関心ももてるようになる。	帽子を被り警察や救急隊員のイメージをもち、友だち同士の間わりを楽しんでいるか。
・粘土・粘土板 ・様々な形の型 ・コロコロローラー	○粘土 ・粘土と粘土板を出して粘土遊びを楽しむ。 ・型を使い、ハートや丸、四角等好きな形にくり抜いて作る。 ・「○○ちゃん（くん）のマーク。次は○○くん（ちゃん）のマーク作る」と友達のマークを作って楽しむ。 ・丸めてお団子、細長くしてヘビなど、できた形を見立てる姿が見られる。	・「せんせい、てつだつて」という声を受け止め一緒に粘土をこねたり、くつつたりして子どもが作りたいものが作れるように援助する。 ・でし上がり「見て～」と言う子ども達の姿に「ほんとだね。○○できたね」と一緒に喜ぶ。	・作りたい物イメージして遊び、楽しめているか。 ・友だちや保育者と言葉のやり取りをしてしながら満足して遊び込んでいるか。
・片付けやすいように箱にピースを入れしておく。 ・パズルの見本を見やすい位置に貼る。 ・いろいろな種類のパズルを準備する。	○パズル ・見本のパズル写真を見ながら挑戦する。 ・興味を持ったパズルを選択して遊ぶ。	・落ちてパズルが見えるように見守る。 ・助けを求めている子には一緒に探してみたり、友だち同士で教え合ったり、楽しめるように声を掛ける。	・友だちや保育者と一緒に遊ぶ。
【遊戯室】 ・体を動かせるように、サーキットを用意しておく。	○運動遊び ・やってみようと思ったりサーキットや、友だちの姿を見て興味をもった運動遊びに挑戦する。	・一人で渡ったり登ったりできるのを見守り、危険な時や怖がついている子がいる時は必要に応じて支え、援助する。	・体を動かす楽しさを感じ、挑戦したり、繰り返して遊んでいるか。



公開園【相愛こども園】

○ドライブごっこ

- ・園庭で三輪車用の道を描き、トンネルや信号機、踏切などを作ってドライブを楽しんでいる。信号機役の子が信号機を動かしながら「今は赤です」「青になりました」等知らせると、三輪車で走りながら「赤や」と止まり「青になったら」と信号を守って走り出す。踏切でも、遮断機が上がるのを待ってから走り出す。信号機、遮断機、三輪車等、交代しながら楽しんでいる。お店屋さんが開店すると、お店の横に止まってはドライブスルーを楽しんでいる。



○泡遊び

- ・必要な道具を自分達で用意して泡作りをする。水の量も自分達で入れているが、水っぽくなってしまふ事が多い。「もうちょっと石鹸をけすらなあかん」「もっとかき混ぜなあかん」等、これまでの経験から考え、友だちと協力して泡作りを楽しんでいる。泡が完成すると、色を付けたり、カップに入れたりしてアイスクリームやジュース等見立てて楽しむ。

○追いかっこ・かくれんぼ

- ・友だちや保育者と誘い合いながら、追いかっこやかかくれんぼを楽しんでいる。まだ「逃げる事が楽しい」といった様子でルールは曖昧だが、「追いかける」「逃げる」を楽しんでいる。

<ねらい>

- 好きな遊びを見つけ、保育者や友だちと一緒に楽しむ。
- 保育者や友だちと一緒に簡単な言葉でやりとりをしながら、表現する楽しさを味わう。
- 物づくりに楽しみ、それらを使って遊ぶ楽しさを味わう。

<内容>

- ままごとやお店屋さんごっこ、ドライブごっこ等、生活の中で経験した事を再現しながら友だちとやり取りをし、役になりきって楽しむ。
- 遊びの中で必要な物を考え、保育者にも手伝ってもらいながら作る事を楽しむ。

<内容選択の理由>

- 友だちと遊ぶ事を楽しみ、その中で自分の思いを伝えたり、相手の思いにも気付いたりできるようになってほしいと考えている。
- 友だちと一緒に作る楽しさを感じ、それらを使って遊ぶ楽しさを感じてほしいと考えている。

【日 時】 令和7年11月27日（木曜日） 9時30分～10時45分

【対象児】 3歳児組（男児：12名） 女児：12名

【担任名】 千原 睦美 植田 光波 長瀬 重也 塩見 陽子

【子どもの姿】

<子どもの生活の特徴>

- 身の回りの事等、自分でできるようになり、保育者と一緒に繰り返す中で、自分でしようとする姿が見られるようになってきた。
- 排泄、パンツで過ごして、自分から知らせるようになってきた。
- 友だちと楽しく食事する中で、苦手な物も減さず食べているようになってきた。

<発達の特徴>

- 少しずつ友だちのしている事にも興味をもち、遊びを共有しながら一緒に楽しめるようになってきた。
- 言葉でのやりとりもするが、思いを伝えるには言葉足らずだったり、強い口調になったりしてトラブルになる時もある。
- 物づくりに興味をもち、色々な素材を使って保育者と一緒に作る事を楽しんでいる。また、それらを使ってごっこ遊びを楽しんでいる。

<遊びの特徴>

○ごっこ遊び

- ・お人形をおんぶしたり、エプロンを着けたりしながら「あちやんにミルク飲ませとん」「お仕事いつてくるね」等、お母さんやお姉さん役になって遊んでいる。



- ・お人形を抱っこしていった子が「お熱がある」と言うとう、聴診器や注射器を持った子がやがてきて、熱を測ったり聴診器を当てたり、自分が経験した事を再現しながら「お薬飲ませてください」「わかりました」等、やりとりを楽しんでいる。



- ・お店屋さんごっこでは、「いらっしゃいませ」「なににしますか」「○○ください」等、やり取りをしながら楽しんでいる。お店屋さん役の中でもレジ役、品物を取る役とそれぞれの役があるが、自我の強い子がする事が多くなくてしまい、「やりたい」となかなか言えない子もいる。保育者も一緒に遊びながら「いれて」「かわって」等、安心して自分の思いが出せるようにしている。

○物づくり

- ・「○○作りたい」「○○もあつたらいいんじゃない」等、自分のアイデアを出しながら簡単な物づくりに楽しみ、でき上がると嬉しそうに友だちと見せ合っている。散歩で拾ってきた自然物等を使ってケーキやキャンドリーを作ったり、「○○も作りたい」と、ビーズやたこ焼きなど、自分の作りたい物をイメージして作るうとする姿が増えてきている。自分達で作った物を使ってお店屋さんごっこなども楽しんでいる。



○車遊び

- ・道を繋げたり、トンネルを作ったり、自分達で考えながら道路を作り、ミニカーを走らせて遊んでいる。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
【三歳児保育室】 ・キッチン ・材料や調理器具 ・赤ちゃんの人形 ・お部屋（ベビーカーやベブッド） など	・好きな遊びを見つけて遊ぶ。 ○ままごと ・赤ちゃんの人形をベビーカーに乗せてお散歩をしたり、作った料理を食べさせたりお世話をす。 ・ママ役や赤ちゃん役などなりきって楽しむ。 ○お屋さんごっこ ・店員とお客さんになり「いらっしゃいませ」や「〇〇ください」といったやり取りを楽しむ。 ・目新しいものに興味をもつて子どもが集まり、食材の取り合いになったり場所を押しあったりする姿もある。 ○物づくり ・「ごっこ遊びをする中で、「こんなお店もしたい」等の思いをもち、保育者に伝えて製作をする。 ・ペンやシールなどを使って物づくりする友だちを見て「自分もやってみたい」と興味をもち、やってみようとする。 ・作った物でお屋さんごっこを楽しむ。 ○車遊び ・自由に道を繋げて、車を並べたり友だちと一緒に走らせたりする。	・赤ちゃんに優しくお世話できるよう保育者も一緒に遊びに参加しながら言葉掛けをする。 ・やり取りを仲立ちしながら見守る。 ・「何個ですか？」や「熱いので気を付けて下さいね」などと、保育者も役になりきり、一緒に遊びながら、やり取りが広がるようにする。 ・思いがぶつかった時は、相手の気持ちを考える機会を作り、時には思いを代弁しながら仲立ちする。 ・次に使う人がいることを知らせ、使い終わった物は元の場所に戻すよう声を掛ける。 ・子ども達の発想を受け止める。保育者と一緒に必要な材料を揃えたり、一緒に作ったりする。 ・「どんな形にしたの？」「〇〇って何色かな？」などと、作りたい物のイメージが広がるように、保育者も一緒に作っているなら、考えたり、手伝ったりする。	・自分の経験した事からイメージをもつて赤ちゃんのお世話したり料理作ったりをしているか。 ・役になりきってごっこ遊びを楽しめているか。 ・やり取りしながら友だちと一緒に楽しんでいるか。 ・子ども達の発想を受け止める。保育者と一緒に必要な材料を揃えたり、一緒に作ったりする。 ・「どんな形にしたの？」「〇〇って何色かな？」などと、作りたい物のイメージが広がるように、保育者も一緒に作っているなら、考えたり、手伝ったりする。 ・子ども達の発想を受け止める。保育者と一緒に必要な材料を揃えたり、一緒に作ったりする。 ・自分の思いを伝えながら、友達と一緒に遊んでいるか。
・車 ・道路 ・セロハンテープ			・自分の思いを伝えながら、友達と一緒に遊んでいるか。

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
【園庭】 ・白線の道 ・三輪車 ・（決まった場所に）遮断機 ・信号機 ・トンネル など	・ハウスの道を通る道を描き、ごっこ遊びにつなげる。 ・ハウスの前を通る道を描き、ごっこ遊びにつなげる。	・ハウスの前を通る道を描き、ごっこ遊びにつなげる。 ・ハウスの前を通る道を描き、ごっこ遊びにつなげる。	・自分の経験した事からイメージをもつて赤ちゃんのお世話したり料理作ったりをしているか。 ・役になりきってごっこ遊びを楽しめているか。 ・やり取りしながら友だちと一緒に楽しんでいるか。 ・子ども達の発想を受け止める。保育者と一緒に必要な材料を揃えたり、一緒に作ったりする。 ・「どんな形にしたの？」「〇〇って何色かな？」などと、作りたい物のイメージが広がるように、保育者も一緒に作っているなら、考えたり、手伝ったりする。 ・子ども達の発想を受け止める。保育者と一緒に必要な材料を揃えたり、一緒に作ったりする。 ・自分の思いを伝えながら、友達と一緒に遊んでいるか。
・キッチン ・材料や調理器具 ・赤ちゃんの人形 ・お部屋（ベビーカーやベブッド） など	・好きな遊びを見つけて遊ぶ。 ○ままごと ・赤ちゃんの人形をベビーカーに乗せてお散歩をしたり、作った料理を食べさせたりお世話をす。 ・ママ役や赤ちゃん役などなりきって楽しむ。 ○お屋さんごっこ ・店員とお客さんになり「いらっしゃいませ」や「〇〇ください」といったやり取りを楽しむ。 ・目新しいものに興味をもつて子どもが集まり、食材の取り合いになったり場所を押しあったりする姿もある。 ○物づくり ・「ごっこ遊びをする中で、「こんなお店もしたい」等の思いをもち、保育者に伝えて製作をする。 ・ペンやシールなどを使って物づくりする友だちを見て「自分もやってみたい」と興味をもち、やってみようとする。 ・作った物でお屋さんごっこを楽しむ。 ○車遊び ・自由に道を繋げて、車を並べたり友だちと一緒に走らせたりする。	・赤ちゃんに優しくお世話できるよう保育者も一緒に遊びに参加しながら言葉掛けをする。 ・やり取りを仲立ちしながら見守る。 ・「何個ですか？」や「熱いので気を付けて下さいね」などと、保育者も役になりきり、一緒に遊びながら、やり取りが広がるようにする。 ・思いがぶつかった時は、相手の気持ちを考える機会を作り、時には思いを代弁しながら仲立ちする。 ・次に使う人がいることを知らせ、使い終わった物は元の場所に戻すよう声を掛ける。 ・子ども達の発想を受け止める。保育者と一緒に必要な材料を揃えたり、一緒に作ったりする。 ・「どんな形にしたの？」「〇〇って何色かな？」などと、作りたい物のイメージが広がるように、保育者も一緒に作っているなら、考えたり、手伝ったりする。 ・子ども達の発想を受け止める。保育者と一緒に必要な材料を揃えたり、一緒に作ったりする。 ・自分の思いを伝えながら、友達と一緒に遊んでいるか。	・自分の経験した事からイメージをもつて赤ちゃんのお世話したり料理作ったりをしているか。 ・役になりきってごっこ遊びを楽しめているか。 ・やり取りしながら友だちと一緒に楽しんでいるか。 ・子ども達の発想を受け止める。保育者と一緒に必要な材料を揃えたり、一緒に作ったりする。 ・「どんな形にしたの？」「〇〇って何色かな？」などと、作りたい物のイメージが広がるように、保育者も一緒に作っているなら、考えたり、手伝ったりする。 ・子ども達の発想を受け止める。保育者と一緒に必要な材料を揃えたり、一緒に作ったりする。 ・自分の思いを伝えながら、友達と一緒に遊んでいるか。
・車 ・道路 ・セロハンテープ			・自分の思いを伝えながら、友達と一緒に遊んでいるか。



公開園【相愛こども園】



○おもちゃごっこ
『きょうはおうちでなつまつまつり』の絵本を見たことをきっかけに、「お祭りごっこしたい」との声が聞かれた為、「お祭りには何があるかな?」と子ども達と一緒に考えながらコーナーを作り始めた。絵本で見た物だけでなく、実際に自分達がお祭りで見た屋台などもイメージして作っている。屋台に並べる品物が完成すると、自分達でお客さんを呼び込み、遊びを広げている。



○散髪屋さん
スズランテーブルで三つ編みを作り髪に付けている子が多くおり、そこから散髪屋さんへと発展していく。「ハサミがいる」「終わった子に給あげんと」等、自分が見て経験した事を友だちや保育者に伝え、友だちと協力しながら作る姿が見られた。店員さんとお客さんでどんな髪型にしますか?」「これがいいです」と、会話も楽しんでいる。



○魚釣り
製作コーナーで釣竿・魚を作る子がいいた為、大きな池を段ボールで用意すると、他の子も釣竿を作り遊びに参加するようになる。「水族館でこんな魚見た」と、自分が見た物を製作コーナーで作り池に入れて遊ぶ姿も見られた。

○おしやれ遊び
製作コーナーで化粧品を作る子がおおり、手洗いの鏡を見て身だしなみを整える子がいいた為、保育者も一緒に考えながらドレッシングやおしやれコーナーを作る。おしやれをした後は家族ごっこにも発展していき、役になりきって会話を楽しみながら遊び姿も見られる。



○ブロック遊び
春は園々に作りたい物(ケーキ・花・へび...)を作る姿が多かったが、夏の終わりがちから家や街のように空間をイメージしながら友だちと一緒に一つの物を作る姿が見られるようになった。週末までは飾っておける為、日が経つごとにイメージを膨らませ大きな作品ができていく。

<ねらい>

- 様々な素材を使って自分なりのイメージをもち、友だちとイメージを共有しながら遊びをすすめていく喜びを味わう。
- 友だちと関わりながら、一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
- 自然素材に触れ、感触や変化を楽しむ。

<内容>

- 作りたい物をイメージして廃材を使って商品を作り、お店屋さんごっこをして遊ぶ。
- 水・砂・泡・秋の自然物で遊ぶ。
- 戸外で体を動かして遊ぶ。

<内容選択の理由>

- 友だちと言葉で思いを伝え合うことで考え、工夫し、協力する経験を増やし、自分のイメージする物が形になっていく達成感を味わってほしいと考えている。
- 日頃から体を動かして遊ぶ事が大好きな子ども達は、特に運動会後から鬼ごっこを友だちと楽しんでいる。走る・跳ぶ等いろいろな動きを経験し、友だちと関わりながら体を動かすことで、ルールを守る・順番を待つなどの社会的な力や協調性が育ってほしいと考えている。
- 泡遊びに興味をもち、最初は一人で石鹸を削り混ぜて泡を作っていた。遊びを繰り返す中で、友だちと一緒に泡作りをする姿が見られ、その中でも柔らかい泡からどうやったら固い泡になるのか試行錯誤しながら友だちと考え、自分達のイメージが完成した。完成した泡を生クリームに見立て、砂で作ったケーキに塗って遊んだり、散歩で拾ったどんぐりに泡を塗ってご飯粒に見立てたりと遊びが広がってきている。身近な自然から季節を感じ取ってほしいと考えている。

【日時】 令和7年11月27日(木曜日) 9時30分～10時45分
【対象児】 4歳児 きりん組(男児:16名 女児:11名)
【担任名】 真下 彩那 國屋 英里子 新宮 未夢 嵯峨根 沙耶香

【子どもの姿】

- <子どもの生活の特徴>
○身の回りのできる事は、自分の力でしようとしている子が多くなったが、保育者を頼ってしまいう姿も見られる。
- 片付けの時間や給食の目標時間など時計の数字を使って示す事で、自分達で気付いて見通しをもてるようになってきている。
- 友だちが楽しんでいる遊びにも興味をもち参加し、友だちと関わりながらみんなと遊ぶことを楽しんでいる。
- <発達の特徴>
○友だちとの関わりが深まり、少人数グループで遊ぶ事が増える。また、共通の目的をもつて友だちと一緒に遊ぶ中で、遊びを進めようとする姿が見られる。
- 友だちが作っている物や身近な物に興味をもち、様々な素材を使って、試行錯誤しながら製作することを楽しんでいる。
- 手先が器用になり、ハサミやテープ・お箸等、身近な道具の使い方が上手になってきた。

<遊びの特徴>

- 泡遊び
水の量や石鹸の量などを変えながら、ふわふわの泡や固い泡等イメージした泡を作るようになってきた。泡を作った満足する子も多かったが、秋から泡をホイップに見立ててケーキ作りをしたり、固い泡を丸めておだんご作りをしたりする遊びへと発展してきている。砂や散歩で拾ってきた自然物(落ち葉・木の葉等)も使用し、イメージを膨らませながら作ることを楽しんでいる。1人では完成させることが難しい事も子ども同士で相談しながら、イメージしたものを形にしようとして工夫する姿がある。
- 砂遊び
穴を掘ることから始まった砂遊びが、掘った穴に水を入れて川を作るなど山・川・道路などを作ろうと考える姿が見られるようになってきた。さらにトンネルや橋など細かい部分にも興味を示し、本物の街のように作り上げることができ、子ども同士で協力して掘ること、より大きな川や山を作ることができ、友だちと完成させることができたと達成感や喜びを感じながら遊びを広げている。

○三輪車・自転車
三輪車や自転車に乗り、スピードを変化させたり、友だちと並走したりすることを楽しむ。ライインの引かれた道路から「信号や踏切がある」と気付く、新聞紙で作った手作りの踏切を使って遊び、踏切を通る時には一度止まってまわりを確認する等、安全を意識しながら遊んでいる。

○製作
空き箱や画用紙、ストロー等様々な素材を使い自分のイメージする物を作っている。春は素材を組み合わせただけで満足する子も多かったが、友だちが作る様子や年長児の作品を見て、「こうしたらいいんか」と少しずつ空き箱の組み合わせ方やテープの使い方、必要な素材の運び方が上手になってきた。友だちと一緒に一つの物を作る姿も見られ、「ここはどうする?」「テープやたらくっつくかも」と、子ども同士で話し合いをし、共通のイメージをもち完成させる姿もある。



環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
- 好きな遊びに入れるよう、各コーナーの遊びを整えておく。 - 少なくとも素材を補充しておく。 - 道具や色々な素材を取りやすい位置に配置する。	- 登園した子から、やりたい遊びをする。 - 仲の良い友だちを誘う。 ○製作 - 自分の作りたいものをイメージして、素材の中から選んで作っていく。 - 共通のイメージをもった友だちと「ここはこうしてみよう！」等と相談しながら協力して作る。 - 作った物で遊ぶ。	- 道具の使い方がまだ苦手な子には、必要に応じて援助する。 - 友だちとの関わりを大切にし、イメージしたもののを作る為にどうしたらいいのか考えられるように見守り、必要に応じて助言する。	- 素材や道具に触れる事を楽しみ、自分なりの工夫しているか。 - 友だちと一緒に力を伝え合い、協力する姿が見られるか。
- 作った物を並べている机や棚を設置しておく。 - 衣装 - 食べ物 - 編掛け 等	○おまつりごっこ - 友だちを誘い合って、店員さん、お客さんに分かれる。 「いらっしゃいませ〜。きてくださいい〜」と周りの友だちや年長クラスなど呼び込みに行く。 「どれにしますか？」 「こんなものもありますよ」等と、店員さんになりきって友だちとやり取りを楽しむ。 ○泡遊び - 友だちと一緒に石鹸を削る役、削った石鹸と水を混ぜる役に分かれる。 - どうやったら固い泡、フワフワの泡になるか相談し、水の量を調節しながら変化を楽しむ。 - 完成した泡を食べ物に見立てて、遊びを発展させる。 - 自然物を使って食べ物に見立てたり、飾りに使ったりする。 ○ブロック遊び（ラッキー・レゴ等） - 作りたいものを考え、自分なりに試したりする中で工夫して作っている。	- 保育者もお客さんになって一緒に遊び「〇〇ください」「何円ですか？」などと言葉を掛けるなどして、お店屋さんとお客さんのイメージを膨らませ、やり取りを楽しめるようにする。 - 友だちと協力して準備や遊びを進める姿が見られるか。 - イメージしている泡が作れるよう言葉掛けをしながら見守る。 - 完成したもので、次の遊びに繋がるよう、必要に応じてヒントを与えたり作りやすいように言葉掛けをする。	- 手や道具を使い、水の量などの柔らかさ・形等の違いを感じ取っているか。 - 泡や自然物を使って食べ物に見立てたり、イメージを広げながら遊んでいるか。 - 作りたい物や思い描き、試そうとする意欲が見られるか。

完成した作品や続きの物を置く棚を設置する。	- 片付ける場所が分かるように写真を貼っておく。 - 机を片付ける。	- 片付け - 片付けの時間に気が付いて、友だちに知らせる。 - 使った物を、元の場所に戻し、飾っておく物は飾り棚に飾る。 ○振り返り - 自分がしていた遊びや楽しかった事をみんなの前で発表し、イメージを膨らませて遊びを振り返る。 - 友達の発表を聞く時は、集中して聞けない子もいる。 - 友だちが作った物に興味を持ち、「どうやって作ったん？」と尋ね、「わたしもやってみたいな」と感じる。	- 声を掛けながら保育者が子ども達の見本となるよう一緒に片付けをする。 - 意欲的に片付けを頑張っている姿を褒めて認める。 - 言葉で上手く伝えられない子には「何して遊んだの？」と尋ねながら、発表できるよう援助する。 - 子ども達の発表を聞き、声を受け止めて、次の遊びに繋がるよう声掛けをする。	- どのブロックをどのよう組み合わせれば形ができながら作っているか。 - 自分がしたことを伝えたいことを自分の言葉で伝えようとしているか。 - 友だちの話にも興味関心をもつことができているか。 - 次はどんなことをやってみたいか、イメージがもてているか。
---	---	---	--	--

公開園【相愛こども園】



「ケーキを棚に並べ「いらっしゃいませ」「どれにしますか?」「お持ち帰りですか?」等と店員さんとお客さんのやり取りをよく知っている子どりが積極的になりかねない。お客さんの真似をして、ごっこ遊びが始まった。お話タイムの中で「お客さんが少なかった」と悩む事もあったが「可愛い声でいっしやいませって言う」「きりん組さんにも来てもらい」等、意見を出し合っている。お店には何が必要なのか友だちと話し合いながら目印になる看板やメニュー、ケーキを乗せるオシャレな台等、いろいろな物が、ケーキ屋さんが発展している。

○キャンパスに

木や石を使って火おこしの真似をしていた事から始まったキャンプ。この「キャンプにはテントでよし」とブルーシートをブランコの支柱につけて「キャンプ作り」、タイヤや網を持ってきてバーベキュー遊びを楽しむ姿がある。散歩に行き、秋の葉っぱや素材を持って帰ってくるという黄色や赤色の葉っぱを肉に見立て、緑の葉っぱを野菜に見立て遊んでいる。そこから近くにジュース屋さんができ「ジュースはいかかがですか?」や「コーラをお願いします」等、子ども達同士でコミュニケーションを取りながらジュースを頼んで届けられてもった遊びを広げている。



<ねらい>

- 友だちと協力し、試行錯誤を繰り返しながら遊びを進めようとする。
- 友だちの考えやアイデアに気付いたり、認めたたり、共感し合ったりする喜びを味わう。
- 素材や物の特徴に気付き、イメージするものを作ったり工夫したりすることを楽しむ。

△ 容 內 △

- 様々な素材を使用し、製作する。
- イメージを膨らませケイ屋さんなど、お店屋さんごっこをする。
- 役割を話し合い、ステージで踊ったり歌ったりして遊ぶ。
- 自然物を取り入れて、キャンプごっこをする。

＜内容選択の理由＞

- 製作遊びでは、イメージした物を様々な素材や用具を使って自分なりに工夫して作っている。友だちと協力した中で、困った時は教え合い、思いを認め合う力、豊かな想像力を育む力を育てていきたいと考えている。
- この遊びでは、相手の思いの遣いに気付き、どうすればよいか考える姿が見られる。友だち同士で役割や必要な物を考えながら遊びを進めていき、異年齢児でも関わりをもつことで、時にはリーダーシップをとったり、思いやりの気持ちをもちながら子ども同士で育ち合っていると考えている。

- 【日 時】 令和7年11月27日(木曜日) 9時30分～10時45分
 【対象児】 5歳児 ぞう組(男児:10名 女児:14名)
 【担任名】 梅垣 美加 藤井 菜々美 水嶋 花奈 藤本 佳代

【子どもの姿】

＜子どももの生活の特徴＞

- 基本的な生活習慣が身に付き、身の回りの事は自分たちで行う。消極的な姿もあり、指示を待ってしまう子もいる。
- 時計の文字盤を見て、活動の節目を意識しながら見通しをもって過ごしている。集中して話が聞けるようになってきているが、中にはお話タイムの聞く姿勢や、食事の姿勢など姿勢保持が続かない子もいる。

＜発達の特徴＞

- 遊びの中で友だちかと思いがぶつかったり、すれ違うこともあるが、話し合いながら解決しようとする姿が見られる。
- 年長児として小さい子のお世話をしようとする気持ちが生まれている。
- 目的意識をもって自分なりにイメージした物をいろいろな素材や廃材を使って作り上げようとする姿が見られる。

＜遊びの特徴＞

の製作遊び

遊びの中で作りたい物を考えて、作ろうとする姿が見られたが、特定の素材を使用する事が多かったため、見本の写真を置いたり、素材の種類を抑えたりしながら、保管者も一緒に考えて作っている。遊びを展開していくうちに目的意識をもつて作る事も増えた。おしやれに興味があることから、ネイルやアクセサリー、衣装などを作り、友だちと一緒にしておしゃれをする様子も見られる。「おしやれをしてダンスをやりたい」と言う子がいた時、お話タイムで「ステージを作った。」「どうやって作る?」との声があったので相談しながら、ステージも作っていた。



製作の中で警察グッズを作る子も増え、実際に警察署に足で「警察と遊びたい」と、白バイやパトカー、持ち物を見せつけた子で「警手眼を作りたい」と新たな製作意欲につながっている。股ボールでパトカーを作る際は友だちと協力しながら作るうとする様子も見られた。

コンラート・ツェルムゼー

おしやれをして、ステージでのライブごっこが始まり、子ども達も連同士で役割を決めようとする姿も見られた。舞台に立ちたいという子が「たくさんかき進める場面は『多すぎざるやん』『順番にしたら？』『じゃんけんして決める？』と意見を出し合う場面もあったので、保育者も見守り、必要に応じて声を掛けていった。少しずつリーダーシップをとって「やりたい人？」と進めていく姿も見られるようになっていく。舞台に立つ子、司会、お客さん、写真を撮る人、盛り上げ役など、ラスの友だちの前だけでなく、異年齢児の子にも見に来てほしいと考えられるようになっていく。



○ケーキ座さん

友だちの誕生日にケーキを作ってお祝いをしようと思っていたのがきっかけで、それから折り紙や空き箱を使ってケーキ作りを楽しむようになった。ケーキが作れるような素材を増やしてみると「作ってみたい」と他の子ども達も興味をもち、自分でイメージしたケーキの形にしたり、友だちと考えるが可愛く飾り付けをする姿も見られた。完成した沢山の

環境構成	予想される子どもの姿	保育者の援助と配慮	評価の観点
・自然物や廃材など、子どもの遊びに合わせ、必要な物を用意しておく。 ・子ども達の見えやすい場所に友だちの作品などを飾っておく。 ・(道具) ・廃材 ・ガムテープ ・ボンド	○製作遊び ・自然物を使い、キーキや飾り、イメージした物を作る。 ・友達作品に興味を持ち、一緒に作ったり教え合ったりする。 ・完成した作品を飾る。	・子ども達がイメージしている物に近づけられるよう適宜援助する。 ・戸惑いが見られた場面では「こんなのもあるよ」と素材を提案したり、「○○くんに聞いてみる？」など声かけをする。 ・教え合ったりする姿を見守る。	・イメージした物を考えて作ろうとしているか。 ・友達と意思を共有しながら作る喜びを味わっているか。
・服・アクセサリを用意し、遊ぶイメージをもてるように整える。 ・音響など子ども達が使用したい時にすぐ準備できるようにしておく。 ・ステージのみを用意し、子ども達が相談し合って、客席・配置などを考えていけるようにする。 ・衣装 ・手作りアクセサリ	○ライブごっこ ・ライブごっこに必要な物を遊ぶ。 ・友だち同士で化粧をする。 ・客席を用意し、他のクラスにライブ時間などを知らせ準備する。 ・司会、舞台に上る子、お客さんなど、役割を決めようとする。 ・どんな曲にするか話し合いながら決め、司会の子が進める。 ・話し合いの中で友だちに思いが伝わらない場面もある。 ○キーキ屋さんごっこ ・お店のカーテンを開けたり整理整頓をし、開店準備をする。 ・「いらっしゃいませ」とお客さんに聞こえる声で呼びかける。 ・好きなキーキを買いに来る。店員さんはカードにスタンプを押したり、キーキを用意する。 ・店員役になりたい子が出てくる。	・子ども達も達意を味わえるように、子ども達と一緒に呼びかけたり、保育者もお客さんになり楽しむ。 ・子ども達で話し合っ決められるように側で見守り、必要時は仲裁に入る。	・自分の意見を伝え、相手の思いに耳を傾けているか。 ・協力し合っているか。 ・友達と一緒に準備を進めているか。 ・友だちと一緒に歌ったりしながら楽しんでいるか。

○キャンピングごっこ	○片付け	○お話タイム
・タイヤややね、お血やトング等、必要な物を集めて持ってくる。 ・素材が足りない時には三輪車を車に見立て、「ちよっと買って来るわ」と園の中からそれを見立てられそうものを探索する。 ・ジュース屋さん好きジュースを頼み、ジュース屋さんの子は頼まれたジュースを作る。	・片付けの時間だと気持ち、見通しをもって、汚れたものを洗ったり、使ったものを元に戻したりする。 ・自分の遊んでいたものの片付けが終わり、何を片付けたらいいかわからず、うろうろしたりする子ども数人いる。 ・お話タイムがはじまることに気付き、用意をする。	・今日の遊びの中で気付いたこと、楽しかったことを友だちに伝え合う。 ・友だちと意思を共有し、気になったことを質問したり、次につながるよう。
・ブランコの支柱にブルーシートをかぶせテントを作っておく。 ・キャンピングに必要な素材を準備し、環境を整える。 ・(道具) ・水のタンク ・石鹸 ・自然物 ・(葉・木の葉など) ・カッパ ・ストロー	・片付けやすいように、写真を貼っておく。	・全員が顔を見合わせて話ができるよう円形になって話を進める。
・子ども達が遊び込めるように十分な広さの場所を用意し、保育者も一緒に遊べるように時間共有する。 ・子ども達の「したい」と言ったことを聞き逃さず「したい」を実現できるように必要な物を揃える。	・「お話タイムはじまるよ」と言葉かけ、保育者と一緒に片付ける。 ・何を片付けたらいいか分からず、うろうろしたりする子ども数人いる。 ・「まだ○○残ってるよ」など具体的に伝える。	・自分なりの考えを相手に伝えようとしているか。 ・友だちの思いに共感したり、興味をもったことを質問しようとしているか。 ・次の遊びは「もつとこうしたい」という期待がもっているか。